

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

(ア)男女別在籍者数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

性別	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
男	121	120	90	100	431
女	72	54	53	70	249
計	193	174	143	170	680

※休学者の数は在籍者の内数

(イ)出身地別在籍者数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

出 身 地		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
山形県内	村山	31	36	40	29	136
	最上	7	10	14	4	35
	置賜	22	27	22	15	86
	庄内	49	57	28	60	194
	小計	109	130	104	108	451
山形県外	青森県	8	2	2	4	16
	岩手県	20	15	11	22	68
	宮城県	9	10	7	17	43
	秋田県	29	8	14	9	60
	福島県	9	6	2	3	20
	神奈川県	1	1		3	5
	東京都	1	1			2
	栃木県		1		1	2
	石川県	1				1
	新潟県				2	2
	大阪府	1				1
	埼玉県				1	1
	静岡県			1		1
	千葉県			1		1
	茨城県	1				1
	福岡県	1				1
	長野県	3				3
	中国			1		1
	小計	84	44	39	62	229
合 計		193	174	143	170	680

(ウ)退学・除籍・休学の状況（平成 27 年度）（平成 28 年 5 月 1 日現在）

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計		累 計
退学者	1		2		1		3		7		307
除籍者	1		1		1		1		4		27
休学者	前期 0	後期 2	前期 1	後期 1	前期 0	後期 0	前期 1	後期 3	前期 2	後期 6	—

②公益学研究科

(ア)男女別在籍者数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	1 1	2			3	1 6
女	4	6				1 0
計	1 5	8			3	2 6

(イ)出身地別在籍者数（平成 28 年 5 月 1 日現在）

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年
山形県内	村山	1	1			1
	最上	1	1			
	置賜					
	庄内	1 0	6			
	小計	1 2	8			1
山形県外	東京					1
	栃木					1
	広島					
	青森					
	小計	0	0			2
国外	中国	2				
	パキスタン	1				
合計		1 5	8			3

(ウ)退学・休学の状況（平成 27 年度）

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	0	1	1
除籍者	0	0	0
休学者	0	0	0

(2) 公益学部履修科目

○ 2 0 1 5 年 度 時 間 割 【 2 0 1 4 年 度 以 降 入 学 】 ○

○前期セメスター

平成27年4月1日

		月				火				水				木				土			
		コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室
1時限 9:00~ 10:30	英語Ⅰ	1101	英語Ⅰ (基礎英語) ④	佐藤 明子	210	2101	英語Ⅰ (リスニング) ④	佐藤 明子	208	3101	現代公益論 (スタ導入)	オムニバス	301	4101	英語Ⅰ (基礎英語) ④	佐藤 明子	208	5101	英語Ⅰ (リスニング) ④	佐藤 明子	208
		1102	英語Ⅰ (スピーキング) ①	スチュワート	104	2102	英語Ⅰ (リスニング) ④	佐藤 明子	203					4102	中国語Ⅰ①	洪谷 尚二	203	5102	英語Ⅰ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1103	英語Ⅰ (スピーキング) ②	ローウェン	212	2103	英語Ⅰ (スピーキング) ④	ローウェン	104					4103	中国語Ⅰ②	洪谷 尚二	202	5103	EAPⅠ (BE) ④	佐藤 明子	207
		1104	中国語Ⅰ①	洪谷 尚二	202	2104	中国語Ⅰ②	洪谷 尚二	207					4104	情報リテラシーⅠ①	佐藤 明子	204	5104	EAPⅠ (LS1) ②	スチュワート	104
		1105	西洋史a【教員Ⅰ】	山本 直美	103	2105	情報リテラシーⅠ②	佐藤 明子	205					4105	情報リテラシーⅠ②	山本 直美	205	5105	中国語Ⅰ②	洪谷 尚二	203
						2106	情報リテラシーⅠ③	佐藤 明子	204					4106	生涯学習基礎 (教員Ⅱ)【第1Q】	佐藤 明子	103	5106	情報リテラシーⅠ③	佐藤 明子	204
2時限 10:40~ 12:10	英語Ⅱ	1106	英語Ⅱ (スピーキング) ①	スチュワート	104	2106	英語Ⅱ (スピーキング) ④	ローウェン	104	3102	英語Ⅱ (ライティング) ①【第1Q】	松田 寛	212	4203	英語Ⅱ (ライティング) ①【第1Q】	松田 寛	212	5106	英語Ⅱ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1107	英語Ⅱ (スピーキング) ②	ローウェン	212	2107	英語Ⅱ (スピーキング) ④	佐藤 明子	103	3103	情報リテラシーⅡ (情報リテラシー)【第1Q】	佐藤 明子	102	4107	英語Ⅱ (ライティング) ②【第1Q】	洪谷 尚二	105	5109	行政学【教員Ⅱ】	佐藤 明子	105
		1108	情報リテラシーⅡ (情報リテラシー)【第1Q】	佐藤 明子	102	2110	英語Ⅱ (スピーキング) ④	佐藤 明子	103	3104	データベースⅡ (情報リテラシー)【第2Q】	佐藤 明子	102					5110	情報リテラシーⅡ (情報リテラシー)【第2Q】	佐藤 明子	103
		1109	情報リテラシーⅡ (情報リテラシー)【第2Q】	佐藤 明子	102	2111	英語Ⅱ (スピーキング) ④	佐藤 明子	103	3105	生涯学習基礎 (教員Ⅱ)【第2Q】	佐藤 明子	209					5111	生涯学習基礎 (教員Ⅱ)【第2Q】	佐藤 明子	209
		1201	英語Ⅱ (基礎英語) ④	佐藤 明子	208	2201	英語Ⅱ (基礎英語) ④	佐藤 明子	211	3201	キャリア入門 (キャリア基本)	オムニバス	301	4201	英語Ⅱ (リスニング) ④	佐藤 明子	205	5201	英語Ⅱ (基礎英語) ④	佐藤 明子	208
		1202	英語Ⅱ (リスニング) ④	佐藤 明子	211	2202	情報リテラシーⅠ④	佐藤 明子	205	3202	文法Ⅱa【教員Ⅱ】【第2Q】	山本 直美	103	4202	中国語Ⅱ③	洪谷 尚二	211	5202	英語Ⅱ (スピーキング) ②	スチュワート	104
3時限 13:00~ 14:30	英語Ⅲ	1203	EAPⅡ (S/L1) ④	スチュワート	104	2203	情報リテラシーⅠ④	佐藤 明子	204					4203	情報リテラシーⅠ④	佐藤 明子	204	5203	EAPⅡ (BE) ④	佐藤 明子	207
		1204	中国語Ⅱ②	洪谷 尚二	202									4204	情報リテラシーⅠ④	山本 直美	205	5204	EAPⅡ (LS1) ④	佐藤 明子	201
		1205	健康科学【教員Ⅱ】	早坂 幸子	103									4205	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5205	中国語Ⅱ③	洪谷 尚二	203
		1206	英語Ⅲ (スピーキング) ④	スチュワート	104	2204	英語Ⅲ (ライティング) ④【第1Q】	松田 寛	212	3203	英語Ⅲ (ライティング) ④【第1Q】	松田 寛	212	4206	英語Ⅲ (ライティング) ④【第1Q】	松田 寛	212	5206	英語Ⅲ (スピーキング) ④	スチュワート	104
		1207	TOEIC (中級)【国教】【第1Q】	佐藤 明子	210	2205	英語Ⅲ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3204	英語Ⅲ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4207	中国語Ⅱ④	洪谷 尚二	202	5207	基礎プログラミングⅠC	佐藤 明子	101
		1208	情報リテラシーⅡ (情報リテラシー)【第2Q】	佐藤 明子	102	2206	中国語Ⅱ④	洪谷 尚二	207	3205	英語Ⅲ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4208	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5208	英語Ⅲ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
4時限 14:40~ 16:10	英語Ⅳ	1301	社会福祉学【教員Ⅱ】	佐藤 明子	104	2301	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3206	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4209	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5209	英語Ⅳ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1302	数学【教員Ⅱ】【第1Q】	佐藤 明子	102	2302	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3207	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4210	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5210	英語Ⅳ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1303	数学【教員Ⅱ】【第2Q】	佐藤 明子	102	2303	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3208	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4211	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5211	英語Ⅳ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1304	経済学【教員Ⅱ】	佐藤 明子	105	2304	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3209	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4212	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5212	英語Ⅳ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1305	世界経済事情【文系系共通】【第1Q】	佐藤 明子	205	2305	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3210	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4213	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5213	英語Ⅳ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1306	エネルギーと社会【特設】	佐藤 明子	103	2306	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3211	英語Ⅳ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4214	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5214	英語Ⅳ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
5時限 16:20~ 17:50	英語Ⅴ	1401	基礎英語Ⅱa【教員Ⅱ】	専任教員	105	2307	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3212	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4215	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5215	英語Ⅴ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1402	情報社会・フュージョンの技法【文系系共通】【第1Q】	オムニバス	201	2308	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3213	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4216	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5216	英語Ⅴ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1403	多文化共生【文系系共通】【第2Q】	佐藤 明子	208	2309	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3214	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4217	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5217	英語Ⅴ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1404	マーケティングⅡ【国教】【第1Q】	平尾 清	103	2310	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3215	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4218	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5218	英語Ⅴ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1405	社会福祉学【国教】【第1Q】	阿部 公一	104	2311	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3216	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4219	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5219	英語Ⅴ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1406	国際関係論【国教】【第1Q】	佐藤 明子	208	2312	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	3217	英語Ⅴ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	210	4220	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5220	英語Ⅴ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
6時限 18:00~ 19:30	英語Ⅵ	1407	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	2313	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	3218	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4221	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5221	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1408	英語Ⅵ (ライティング) ④【第2Q】	佐藤 明子	211	2314	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	3219	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4222	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5222	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1409	英語Ⅵ (ライティング) ④【第2Q】	佐藤 明子	211	2315	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	3220	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4223	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5223	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1410	英語Ⅵ (ライティング) ④【第2Q】	佐藤 明子	211	2316	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	3221	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4224	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5224	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1411	英語Ⅵ (ライティング) ④【第2Q】	佐藤 明子	211	2317	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	3222	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4225	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5225	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212
		1412	英語Ⅵ (ライティング) ④【第2Q】	佐藤 明子	211	2318	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	3223	英語Ⅵ (ライティング) ④【第1Q】	佐藤 明子	211	4226	基礎英語Ⅱ (地域系共通)	佐藤 明子	105	5226	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 明子	212

○1年生は上段のみ対象。※印は教員履修。

注) 1年生の情報クラス: 英語①②⇒①②のクラス 中国語①②⇒③④のクラス

注) 2年生の情報クラス (A~Dクラス): 英語④・中国語②⇒A 英語④・⑤⇒Bクラス 英語④・⑥・中国語③⇒Cクラス 英語④・⑦・中国語③⇒Dクラス

○後期セメスター

平成27年9月24日

平成27年9月24日																									
		月				火				水				木				金				土			
		コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室	コード	科目名	教員名	教室
1時間 9:00～ 10:30	1年生	1150	英語Ⅳ (リーディング) ④	佐藤 剛子	207	2150	英語Ⅳ (リーディング) ④	佐藤 剛子	208	3150	生物の文化【スタ導入】	オムニバス	301	4150	中国語Ⅳ①	渋谷 尚二	203	5150	英語Ⅳ (リーディング) ④	佐藤 剛子	208				
		1151	英語Ⅴ (スピーキング) ④	ローウェン	211	2151	中国語Ⅳ①	渋谷 尚二	207					4151	中国語Ⅳ②	山本 孝男	202	5151	英語Ⅳ (リーディング) ④	栗本 晶	207				
		1251	英語Ⅵ (スピーキング) ④	スチュワート	210	2152	情報リテラシーⅡ②	高橋 美紀	205					4152	情報リテラシーⅡ①	高橋 美紀	204	5152	EAPⅣ (R1) ④	スチュワート	209				
		1153	EAPⅣ (L/S2) ④	佐藤 剛子	104	2153	情報リテラシーⅡ②	高橋 美紀	204					4153	情報リテラシーⅡ②	山本 孝男	205	5153	英語Ⅴ (スピーキング) ④	スチュワート	211				
		1154	中国語Ⅳ③	渋谷 尚二	202	2154	英語Ⅳ文化Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	103					2154	英語Ⅳ文化Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	103	5154	中国語Ⅴ②	渋谷 尚二	202				
																			5155	情報リテラシーⅡ③	神田 直樹	205			
																		5156	情報リテラシーⅡ③	佐藤 剛子	204				
	2年生	1155	英語Ⅳ (リーディング) ④	佐藤 剛子	207	2155	英語Ⅳ (リーディング) ④	佐藤 剛子	208	3151	植物の歴史と文化Ⅱ (地場)	佐藤 剛子	104	4156	英語Ⅳ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	209	5157	英語Ⅳ (リーディング) ④	佐藤 剛子	208				
		1156	英語Ⅴ (スピーキング) ④	ローウェン	211	2156	地方自治論【政策】	松田 孝一	105	4159	English PresentationⅡ【国際】第3Q	佐藤 剛子	212	4154	英語Ⅴ (スピーキング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	105	5158	英語Ⅳ (リーディング) ④	栗本 晶	207				
		1255	英語Ⅵ (スピーキング) ④	スチュワート	210					3152	植物の歴史と文化Ⅱ (地場)【第3Q】	佐藤 剛子	105	4155	英語Ⅵ (スピーキング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	208	5159	英語Ⅳ (リーディング) ④	スチュワート	209				
		1158	英語Ⅵ (リスニング) ④	佐藤 剛子	104					3200	植物の歴史と文化Ⅱ (地場)【第3Q】	佐藤 剛子	102					5160	英語Ⅴ (スピーキング) ④	スチュワート	211				
		1159	植物の歴史と文化Ⅱ (地場)【第3Q】	佐藤 剛子	102					3261	植物の歴史と文化Ⅱ (地場)【第4Q】	佐藤 剛子	102					5161	英語Ⅵ (スピーキング) ④【第3Q】	栗本 晶	207				
1160		植物の歴史と文化Ⅱ (地場)【第4Q】	佐藤 剛子	102													5162	英語Ⅵ (スピーキング) ④【第3Q】	栗本 晶	207					
2時間 10:40～ 12:10	1年生	1250	英語Ⅴ (スピーキング) ④	ローウェン	211	2250	EAPⅤ (S/L/2, 3) ④	佐藤 剛子	210	3250	英語Ⅵ (リスニング) ④	栗本 晶	104	5251	EAPⅤ (S/L/2) ④	佐藤 剛子	104	5250	英語Ⅵ (リーディング) ④	栗本 晶	207				
		5153	英語Ⅴ (スピーキング) ④	スチュワート	110	2251	英語Ⅵ (リスニング) ④	佐藤 剛子	104	3251	中国語Ⅴ①	渋谷 尚二	210	4251	中国語Ⅴ②	山本 孝男	208	4250	英語Ⅵ (リスニング) ④	佐藤 剛子	103				
		1252	EAPⅤ (L/S2) ④	佐藤 剛子	104	2252	情報リテラシーⅡ②	高橋 美紀	205	3252	山形地場論【英文系共通】	山本 孝男	301	4252	情報リテラシーⅡ②	高橋 美紀	204	5252	英語Ⅵ (リスニング) ④	佐藤 剛子	104				
		1253	中国語Ⅳ②	渋谷 尚二	202	2253	情報リテラシーⅡ②	高橋 美紀	204	3253	天文学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	301	4253	情報リテラシーⅡ②	高橋 美紀	205	5253	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
																		5254	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
																		5255	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
	2年生	1254	英語Ⅵ (スピーキング) ④	ローウェン	211	2254	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	210	3254	英語Ⅵ (リスニング) ④	栗本 晶	104	5256	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	104	5256	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
		5160	英語Ⅵ (スピーキング) ④	スチュワート	210	2255	英語Ⅵ (リスニング) ④	佐藤 剛子	104	3255	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	212	4256	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	209	5257	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
		1256	英語Ⅵ (リスニング) ④	佐藤 剛子	104	2256	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	212	3256	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	212	4257	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	209	5258	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
		1257	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	206	1355	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	208	3257	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	212	4258	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	209	5259	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
		1258	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	206	2260	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	208	3258	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	212	4259	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	209	5260	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
		1259	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	206	2261	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	208	3259	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	212	4260	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	山本 孝男	209	5261	英語Ⅵ (スピーキング) ④	佐藤 剛子	103				
3時間 13:00～ 14:30	1年生	1350	社会福祉学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	104	2350	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	3350	EAPⅥ (R1) ④	山本 孝男	212	4350	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5350	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1351	統計学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	佐藤 剛子	105	2351	社会学Ⅱ【第4Q】	佐藤 剛子	103	3351	英語Ⅵ (リスニング) ④	山本 孝男	212	4351	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5351	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1352	統計学Ⅱ【教員Ⅰ】第4Q	佐藤 剛子	105	2352	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第4Q	佐藤 剛子	103	3352	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4352	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5352	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1353	※教員Ⅰ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	207					3353	ロシア語Ⅱ【外国語Ⅰ】	山本 孝男	212	4353	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5353	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
										3354	※人文地理学Ⅱ【教員Ⅰ】	山本 孝男	212	4354	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5354	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
																		5355	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
	2年生	1354	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	206	1257	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	208	3355	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4355	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5355	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1355	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	206	1258	英語Ⅵ (リーディング) ④【第3Q】	佐藤 剛子	208	3356	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4356	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5356	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1356	中国語Ⅳ③	渋谷 尚二	202	2353	基礎プログラミングⅡB	佐藤 剛子	105	3357	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4357	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5357	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1357	Academic Writing【国際】第4Q	佐藤 剛子	211	2354	基礎プログラミングⅡB	佐藤 剛子	105	3358	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4358	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5358	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1358	International Economics【国際】第3Q	佐藤 剛子	201	2355	基礎プログラミングⅡB	佐藤 剛子	105	3359	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4359	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5359	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
		1359	International Economics【国際】第3Q	佐藤 剛子	201	2356	基礎プログラミングⅡB	佐藤 剛子	105	3360	英語Ⅵ (リーディング) ④	山本 孝男	212	4360	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209	5360	社会学Ⅱ【教員Ⅰ】第3Q	山本 孝男	209				
4時間 14:40～ 16:10	1年生	1450	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2450	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3450	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	4450	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	5450	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103				
		1451	Kookiマニキュア作成	佐藤 剛子	101	2451	Kookiマニキュア作成	佐藤 剛子	101	3451	Kookiマニキュア作成	佐藤 剛子	101	4451	Kookiマニキュア作成	佐藤 剛子	101	5451	Kookiマニキュア作成	佐藤 剛子	101				
		1452	社会福祉学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	104	2452	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	3452	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	4452	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	5452	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103				
		1453	自然地理学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	105	2453	自然地理学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	105	3453	自然地理学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	105	4453	自然地理学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	105	5453	自然地理学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	105				
		1454	情報と社会【特プロ基礎】	佐藤 剛子	208	2454	情報と社会【特プロ基礎】	佐藤 剛子	208	3454	情報と社会【特プロ基礎】	佐藤 剛子	208	4454	情報と社会【特プロ基礎】	佐藤 剛子	208	5454	情報と社会【特プロ基礎】	佐藤 剛子	208				
	2年生	1455	社会福祉学Ⅱ【教員Ⅰ】	佐藤 剛子	104	2455	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	3455	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	4455	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103	5455	社会学Ⅱ【第3Q】	佐藤 剛子	103				
		1456	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2456	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3456	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	4456	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	5456	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103				
		1457	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2457	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3457	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	4457	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	5457	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103				
		1458	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2458	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3458	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	4458	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	5458	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103				
		1459	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2459	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3459	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	4459	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	5459	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103				
		1460	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2460	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3460	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	4460	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	5460	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103				
5時間 16:20～ 17:50	1年生	1550	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	2550	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	103	3550	基礎演習Ⅱ	佐藤 剛子	1035												

(3) 公益学研究科履修科目

2015年度 大学院時間割

時 限	月				火				水				木				金				土			
	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室
1 時限 9:00 ～ 10:30	前				前				前				前				前				前			
	後				後				後				後				後				後	英語集中プログラムⅠ★ 英語集中プログラムⅢ★	バンティング バンティング	中教 中教
2 時限 10:40 ～ 12:10	前				前				前	演習Ⅰ 演習Ⅱ	平松 緑 渡辺 暁雄	酒田 21	前	演習Ⅰ	武田 真理子		前	演習Ⅰ	伊藤 真知子	22	前	研究指導Ⅱ	澤邊 みさ子	
	後				後	演習Ⅰ 演習Ⅱ	温井 亨 平松 緑	酒田 酒田	後	演習Ⅰ 演習Ⅱ	伊藤 真知子 渡辺 暁雄	酒田 21	後	演習Ⅰ	武田 真理子		後				後	公益学特殊講義c (地域活性化) 研究指導Ⅱ 英語集中プログラムⅠ★ 英語集中プログラムⅢ★	伊藤・國眼 澤邊 みさ子 バンティング バンティング	22 中教 中教 中教
3 時限 13:00 ～ 14:30	前				前				前	共創の技法※	温井 亨	11	前	演習Ⅰ 演習Ⅱ	温井 亨 水田 健輔	11	前				前	論文作成法※ 公益学研究特殊講義e (森林の歴史と共生)	オムニバス 遠山 茂樹	21 11
	後				後				後				後	障害者福祉論 演習Ⅱ	澤邊 みさ子 水田 健輔	酒田 酒田	後				後	公益学研究特殊講義a (公会計) 英語集中プログラムⅡ★ 英語集中プログラムⅣ★	水田 健輔 バンティング バンティング	21 中教 中教
4 時限 14:40 ～ 16:10	前				前				前	共創の技法※ 演習Ⅰ	温井 亨 松田 憲	11 酒田	前	演習Ⅰ	温井 亨	11	前	演習Ⅱ	國眼 真理子	酒田	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後				後				後	演習Ⅰ	松田 憲	酒田	後				後	演習Ⅱ	國眼 真理子	酒田	後	英語集中プログラムⅡ★ 英語集中プログラムⅣ★	バンティング バンティング	中教 中教
5 時限 16:20 ～ 17:50	前				前	環境科学特論	平松 緑	11	前	共創の技法※	温井 亨	11	前	演習Ⅱ	温井 亨	11	前	公共経営論	和田 明子	21	前			
	後				後				後				後	環境マネジメント論 演習Ⅱ	古山 隆 温井 亨	21 酒田	後	政策研究特論a (NPM)	和田 明子	21	後	公益ビジネス特論a (社会起業家論)	渡川 智明	11
6 時限 18:00 ～ 19:30	前	地域デザイン論 情報処理論	高谷 時彦 広瀬 雄二	11 中教室	前	公会計論 NPO・非営利組織論 政策研究特論b (規制と競争政策)	水田 健輔 渡川 智明 井手 秀樹	22 11 21	前				前	統計学 福祉政策論	山本 栞樹 武田 真理子	21 22	前	基幹統計調査論※ 加工統計基礎論※ 社会調査論 公益学研究特殊講義b (国際関係論)	桑原 廣美 高橋 睦香 伊藤 真知子 森 彰夫	21 21 22 23	前			
	後	公益学研究特殊講義f	高谷 時彦	11	後	公益ビジネス特論b (公益組織体設計論)	水田 健輔	22	後	公益社会デザイン※	オムニバス	中教室	後	文化交渉論 演習Ⅱ	興 南峰 伊藤 真知子	21 酒田	後	産業組織論★ 公益学研究特殊講義d (協を活性化する野営の開発)	井手 秀樹 平松 緑	中教室 11	後			
7 時限 19:40 ～ 21:10	前	地域福祉特論a	佐野 治	21	前	公共政策論 研究指導Ⅲ・演習Ⅱ	三木 潤一 高谷 時彦	21 11	前				前	地域活性化特論c (地域プロジェクト論)	オムニバス	22	前	基幹統計調査論※ 加工統計基礎論※	桑原 廣美 高橋 睦香	21 21	前			
	後	公共性の社会学 研究指導Ⅲ・演習Ⅱ	伊藤 真知子 高谷 時彦	22 11	後	地域活性化特論a (都市・中心市街地)	高谷 温井	11	後	公益社会デザイン※	オムニバス	中教室	後	ソーシャル・キャピタル論 小地沢 将之	21	後	演習Ⅰ★ 演習Ⅰ★	井手 秀樹 ジハン	21 23	後				

東北公益文科大学 大学院

★印は、アジアビジネス人材養成講座の科目（演習Ⅰ以外であれば、一般の修士課程在籍の院生も履修可能）。

英語集中プログラムⅠおよび英語集中プログラムⅡは、10月～11月開講。
英語集中プログラムⅢおよび英語集中プログラムⅣは、12月～2月開講。

平成27年度大学院時間割（期日指定型講義・集中講義）

1 前期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	共創の技法	温井 亨	4/8(水)3時限・4/15(水)3～5時限・5/13(水)3時限・ 5/20(水)3～5時限・5/27(水)3時限・6/10(水)3～5時限・ 6/17(水)3時限・6/24(水)3～4時限・7/8(水)3時限
期日指定	論文作成法	澤邊 みさ子 和田 明子 松田 憲 遠山 茂樹	4/11・4/25・5/9・5/23・6/6・6/20・7/4・7/18 各土曜3～4時限（7/4は3時限のみ）
期日指定	基幹統計調査論	桑原 廣美	4/10・4/24・5/8・5/22・6/5・6/19・7/3・7/17 各金曜6～7時限（7/17は6時限のみの予定）
期日指定	加工統計基礎論	高橋 睦春	4/17・5/1・5/15・5/29・6/12・6/26・7/10・7/24 各金曜6～7時限（7/24は6時限のみの予定）

2 後期開講科目

区分	科目名	教員名	開講日時
期日指定	公益社会デザイン	オムニバス	10/7・10/14・10/21・10/28・11/4・11/11・ 11/18・11/25 各水曜6～7時限
冬季集中	企業と社会論	中谷 常二	2/6（土）、2/7（日）、2/11（木・祝） いずれも1～5時限
冬季集中	国際経済論	スルトノフ・ ミルゾサイド	2/9（火）5～7時限、2/10（水）5～7時限、 2/11（木・祝）2～5時限、2/12（金）5～7時限、 2/13（土）2～4時限

(4)FD (ファカルティ・ディベロップメント)の開催状況

No.	開催日	内 容	参加人数
1	5月20日	3年生を対象とした個別進路面談の進め方	22
2	6月10日	英語を使用した講義の進め方	27
3	6月17日	平成26年度の募集活動の振り返りと平成27年度の方針	27
4	7月8日	Manaba folio活用方法について	24
5	7月15日	学生情報システムの利活用について	20
6	9月9日	科研費申請説明会	16
7	9月9日	コンプライアンス研修会	16
8	10月14日	基礎演習aの振り返りについて	19
9	10月21日	卒論の様式および副査制度について	17
10	11月11日	Active Learningおよびその実施科目の検討について	22
11	11月18日	障害者差別解消法への対応について	25
12	12月5日	「地方創生と地域課題解決に向けた地方大学の役割」について	20
13	12月9日	本年度の入学前学習とプレイスメントテストの結果について	25
14	1月20日	大学院のカリキュラム等について検討について	33
15	2月23日	平成27年度 地域・大学協働人材育成プログラム ワーキンググループ会議	16
16	3月16日	平成27年度入学前学習の振り返り	31

※SD(スタッフ・ディベロップメント)の開催状況

No.	開催日	内 容	参加人数
1	7月8日	Manaba folio活用方法について(FSD)	5
2	8月10日	「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」 (平成24年8月28日中教審答申)の理解と本学の取組み	25
3	10月1日	「認証評価」について ～平成28年度の日本高等教育評価機構による認証評価受審に向けて～	27
4	12月10日	メンタルヘルス・コーチング研修	46

(5) インターンシップ実施状況

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
1	官公庁	山形県	1
2		山形県村山総合支庁	1
3		山形県置賜総合支庁	3
4		山形県庄内総合支庁	2
5		山形県最上総合支庁	2
6		山形市役所	1
7		天童市役所	1
8		東根市役所	2
9		寒河江市役所	1
10		河北町役場	2
11		朝日町役場	1
12		南陽市役所	1
13		川西町役場	1
14		飯豊町役場	1
15		鶴岡市役所	2
16		酒田市役所	4
17		庄内町役場	6
18		新庄市役所	2
19		舟形町役場	1
20		由利本荘市役所	1
21		横手市役所	1
22		北上市役所	2
23		国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所	2
24		国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所	2
25	金融	鶴岡信用金庫	4
26		SMBC日興証券株式会社 山形支店	1
27	情報通信	株式会社山形テレビ	1
28		株式会社エフエム山形	1
29		株式会社コミュニティ新聞社	2
30		株式会社ニゴロデザイン	1
31	運輸	酒田第一タクシー株式会社	1
32	卸・小売	株式会社マリーン5清水屋	2
33		株式会社八文字屋 みずほ八文字屋	2
34		株式会社ダイユーエイト	1
35		山形パナソニック株式会社	1
36	不動産・建設	株式会社 ブルー	1
37		株式会社東洋開発	2
38	製造	オリエンタルモーター株式会社鶴岡事業所	1
39		精英堂印刷株式会社	1
40	医療	医療法人社団山形愛心会庄内余目病院	1
41		盛岡市立病院	1
42	社会福祉	株式会社ひまわり	4
43		社会福祉法人さくら福祉会	2
44		学校法人天真林昌学園 天真幼稚園	2
45		養護老人ホーム 鶴岡市立友江荘	1
46		サポートセンターあおぞら	1
47		公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	1
48		新庄市社会福祉協議会	1
49		株式会社モンテディオ山形	1
50	サービス	一般社団法人酒田観光物産協会	1
51		酒田商工会議所	1
52		出羽商工会	1
53		花巻商工会議所	1
54		庄内みどり農業協同組合	1
55		株式会社ホテルリッチ酒田	1
56		(株)アークベル (株)雅裳苑 酒田支社	1
57		株式会社鶴岡自動車学園	3
58		株式会社HAPPY GATE	1
59		株式会社庄交コーポレーション航空事業部	1
60		出羽庄内国際交流財団	1
61		スワンスケートリンク運営業務受託者	1
62		(株)HAPPYLOT	1
63	社長インターンシップ	湯野浜温泉 亀や	1
64		株式会社 ブルー	1
合 計			97

(6) オフィスアワーの実施状況

2015年度前期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1時限 9:00～10:30			平尾 清	I-1							1時限
2時限 10:40～ 12:10	西村まどか	B-4	平松 緑 伊藤眞知子 斉藤 徹史	B-5 F-3 I-3			松山 薫	C-3			2時限
3時限 13:00～ 14:30	水田 健輔 澤邊みさ子 和田 明子 三木 潤一 狩野 晃一	C-4 A-4 B-2 E-6 H-2	遠山 茂樹 松田 憲 鎌田 剛 竹原 幸太 白旗希実子	E-5 I-4 E-4 H-4 F-5			森 彰夫 神田 直弥	C-5 F-4	スルトノフ	B-1	3時限
4時限 14:40～ 16:10	呉 衛峰 佐野 治 山本 裕樹 小関 久恵	F-2 A-1 I-5 H-3	古山 隆 菅井マリー	E-1 G-4	阿蘇 裕矢	D-4	呉 尚浩	A-2			4時限
5時限 16:20～ 17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	國眼眞理子 温井 亨 武田眞理子	G-5 G-3 E-2					広瀬 雄二	B-3	5時限
6時限 18:00～ 19:30							渡辺 暁雄	H-1			6時限

2015年度後期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1 時限 9:00～10:30			平尾 清	I - 1							1 時限
2 時限 10:40～ 12:10	西村まどか	B - 4	平松 緑 伊藤眞知子	B - 5 F - 3			松山 薫	C - 3			2 時限
3 時限 13:00～ 14:30	水田 健輔 澤邊みさ子 和田 明子 三木 潤一 狩野 晃一	C - 4 A - 4 B - 2 E - 6 H - 2	遠山 茂樹 鎌田 剛 白旗希実子	E - 5 E - 4 F - 5			森 彰夫 温井 亨 神田 直弥	C - 5 G - 3 F - 4	スルトノフ バンティング	B - 1 D - 2	3 時限
4 時限 14:40～ 16:10	呉 衛峰 佐野 治 山本 裕樹 小関 久恵	F - 2 A - 1 I - 5 H - 3	古山 隆 菅井マリー	E - 1 G - 4	阿蘇 裕矢	D - 4	呉 尚浩 松田 憲	A - 2 I - 4			4 時限
5 時限 16:20～ 17:50	阿部 公一 内藤 悟	H - 5 C - 2	國眼眞理子 武田眞理子 竹原 幸太	G - 5 E - 2 H - 4					広瀬 雄二	B - 3	5 時限
6 時限 18:00～ 19:30			斉藤 徹史	I - 3			渡辺 暁雄	H - 1			6 時限

教 員 業 績 調 書

氏 名	玉本 英夫				
職位・系・コース	教授・学部長				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	Sensor Number Reduction in Skeleton Estimation from Magnetic Motion Capture Data	Journal of Information Processing	Vol.23, No.5, pp.704-707	2015年9月	T.Miura, T.Kaiga, K.Tajima, T.Shibata, H.Tamamoto
2	Motion Characteristics of Bon Odori Dances in Areas along Ushu Kaido Road in Akita Domain	「人文科学とコンピ ュータ」シンポジウム 2015	京田辺市 (京都府)	2015年12月	T.Miura, T.Kaiga, T.Shibata, M.Uemura, K.Tajima, H.Tamamoto
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	A Motion Style Estimator for Lost Folk Dances in Akita Prefecture, Japan	ACM SIGGRAPH ASIA 2015(Poster Session)	Kobe(Japan)	2015年11月	T.Miura, T.Kaiga T.Shibata, H.Katsura, K.Tajima, H.Tamamoto
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	秋田県の民俗芸能 研究におけるモー ションキャプチャ の活用	情報処理学会研究会報 告(人文科学とコンピ ュータ研究会)	2015-CH-108 巻、5号	2015年10月	三浦武, 海賀孝明、 柴田傑, 桂博章、 田島克文, 玉本英夫
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等(必須)					
電子情報通信学会、情報処理学会、計測自動制御学会、人工知能学会、 日本素材物性学会、IEEE(米国電気電子技術者協会) 各正員					
②各種学会における活動状況					
電子情報通信学会代議員会代議員(平成26年3月～平成27年3月) 電子情報通信学会教科書委員会委員(平成12年～) 電子情報通信学会論文誌査読委員(昭和61年～)					
③学会賞等の受賞状況					
なし					

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: 基盤研究C	3,500,000 円 直接経費
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	鶴岡市	総合計画審議会
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	なし		

教 員 業 績 調 書

氏 名	平松 緑				
職位・系・コース	教授、リベラルアーツ				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
0					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
0					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
0					
査読無し学術論文等					
1	最上紅花の脳疾患予 防作用とアンチエイジ ング作用についてー抗 酸化成分の分析からー	東北公益文科大学総 合研究論集	第29号, 75-94	2015	平松 緑・五十嵐喜治 ・鈴木淳子・村上惇 希・及川 彰・高橋知 子
④紀要等					
0					
⑤総説					
1	スポーツと活性酸素	腎臓	37巻, 9-11	2015	
⑥国際会議発表論文等					
0					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
3	1. 最上紅花の花びら 及び若葉におけるフ ラボノイドの分析	BMB2015(第38回日本 分子生物学会、第88 回日本生化学会大会 合同大会)		2015	平松 緑・五十嵐喜治 ・鈴木淳子・村上惇 希・及川 彰・高橋知 子
	2. 最上紅花の脳保護 作用並びにアンチエイ ジング効果における ポリフェノールの 検討	第42回日本脳科学会		2015	平松 緑・五十嵐喜治 ・鈴木淳子・村上惇 希・及川 彰・高橋知 子
	3. 地域資源の山形県 花“最上紅花”を中 心にした地域創生に ついて	・平成27年度 地域課 題基礎研究、 ・第2回地域課題解全 国フォーラム		2015	平松 緑

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本てんかん学会 評議員、日本グアニジノ化合物研究会 運営委員、日本脳科学会 理事、評議員、 老化促進モデルマウス研究協議会 評議員、日本生化学会 会員、日本神経化学会 評議員
②各種学会における活動状況
上記参照
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 一般C 無し	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円
			0 円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 無し
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 東北公益文科大学 地(知)の拠点の整備事業 地域資源の山形県花「最上紅花」を中心にした地域創生について

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	有限会社グローバル・アイ	「山形県庄内地方の最上紅花を使った 粉末健康飲料の開発・製造の事業化」 経済産業省による農商工等連携事業 (2011年10月1日～2016年9月30日)
		紅花生産者	
		東北公益文科大学	
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	公益財団法人 やまがた農業支援センタ ー	審査委員会副委員長
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	3 件	東北電力 つばさの会	最上紅花の若菜と健康づくり
		十坂地区コミセン婦人部会	食と健康
		美しい山形・最上川フォーラム庄内地 域部会	最上川舟運文化シンポジウム
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		

教 員 業 績 調 書

氏 名	國眼 眞理子				
職位・系・コース	教授 リベラル・アーツ				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の 場合は論文等に記載し た順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	キャリア発達・教育に 関する研究 (15) 大学生の進路選択に おける保護者の関わり	日本教育心理学会	第56回総会 発表論文集 p. 454	2014 (平成26年)	國眼眞理子 松下美知子 苗田敏美
2	キャリア発達・教育に 関する研究 (16) 進路決定における重要 な他者およびその影響	日本教育心理学会	第56回総会 発表論文集 p. 455	2014 (平成26年)	松下美知子 國眼眞理子 苗田敏美
3	キャリア発達・教育に 関する研究 (17) 職業志望動機と専門 性・コミュニケーション との関係	日本教育心理学会	第56回総会 発表論文集 p. 456	2014 (平成26年)	苗田敏美 松下美知子 國眼眞理子
4	キャリア発達・教育に 関する研究 (18) 理系女子のキャリア 発達	日本教育心理学会	第57回総会 発表論文集 p. 551	2015 (平成27年)	松下美知子 國眼眞理子 苗田敏美
5	キャリア発達・教育に 関する研究 (19) 自由記述にみる進路・ 職業選択に影響を与え た要因	日本教育心理学会	第57回総会 発表論文集 p. 552	2015 (平成27年)	苗田敏美 松下美知子 國眼眞理子
6	キャリア発達・教育に 関する研究 (20) 大学生におけるイン ターンシップ効果の 検討	日本教育心理学会	第57回総会 発表論文集 p. 553	2015 (平成27年)	國眼眞理子 松下美知子 苗田敏美
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等(必須)					
日本教育心理学会・日本キャリア教育学会・日本青年心理学会					
②各種学会における活動状況					
日本キャリア教育学会 (研究倫理委員会担当理事)					
③学会賞等の受賞状況					

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	50万 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	450000 円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 酒田市大学まちづくり政策形成事業（酒田市における家庭教育支援に関する調査研究）

5. 学外業務歴(平成 27 年度 2 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	酒田警察署	少年非行防止地域ネットワーク事業（2回）
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	5 件	酒田市	教育委員
		同上	酒田っ子すくすく育成会議委員
		同上	スクールカウンセラー
		山形県	産業教育審議会委員
		同上	山形県公私立高等学校協議会

	件 数	団体名称	講演会等名称
外部団体講師派遣	29件	酒田市教育委員会	不登校保護者会（全3回）
		酒田市教育委員会（宮野浦小学校）	構成的グループエンカウンター研修会（2回）
		酒田市教育委員会社会教育課	酒田っ子はぐくみ事業（キャリア教育）3回
		酒田市社会教育課	酒田市社会教育委員会（研修）
		酒田市健康福祉部健康課	心のサポーター養成講座
		酒田市健康福祉部健康課	こころの健康づくり講座
		酒田市子育て支援課	幼保小指導者研修会
		酒田シルバー人材センター	聴き方講座
		山形県高等学校教育研究会	高等学校進路指導研究大会
		山形県教育センター	山形県高等学校初任者研修会
		酒田市宮野浦小学校	子育て研修会
		新庄市立升形小学校	八向中学校区PTA研修会
		鶴岡市立朝暘第5小学校	PTA教育講演会
		鶴岡市教育委員会	鶴岡市地域子育て推進協議会
		山形大学	リーダーシップ論（講義）
		多機能福祉施設こもれび	障がい者（児）ライフステージ教育
		児童家庭支援センターしおん	ケースカンファレンス（3回）
		東京大学医学部付属病院	院内研修
		国立病院機構高崎総合医療センター	院内研修
		新潟県厚生連中央看護学校	院内研修
		国立国際医療研究センター国府台病	院内研修
		国立精神神経研究センター病院	院内研修
		日本海総合病院	院内研修
		群馬県看護教育研究会	看護教育研修会
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	酒田市立看護専門学校（「人間関係論」担当、全15コマ）		

教 員 業 績 調 書

氏 名	伊藤 眞知子				
職位・系・コース	教授・文化交流系・観光・まちづくりコース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	男女共同参画の形成 と公益一女性の「活 躍推進」のもとで	公益学研究	第15巻第1号 (1-	2016年(平成28 年)	伊藤眞知子
④紀要等					
1	地域における男女共 同参画の課題―山形 県を中心に	東北公益文科大学総合	第29号 (25-37)	2015 (平成27) 年	伊藤眞知子
⑤総説・解説等					
1	仕事と私生活の好循環 をつくろう	庄内町広報	No. 232	2015 (平成27) 年3月10日	伊藤眞知子
2	自分らしさって何だ ろう	庄内町広報	No. 239	2015 (平成27) 年6月	伊藤眞知子
3	働く女性のみなさん を応援します!	庄内町広報	No. 256	2016 (平成28) 年3月	伊藤眞知子
4	ロールモデル集を自 分のライフキャリア に活かす	山形県働く女性のロ ールモデル集		2016 (平成28) 年3月	伊藤眞知子
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	人材育成の方法とし ての「聞き書き」に 関する領域横断的研 究	地域課題解決フォー ラムin庄内		2014 (平成26) 年12月20日	伊藤眞知子
2	男女共同参画社会と 公益―「女性の活躍 推進」のもとで	日本公益学会第16回 大会		2015 (平成27) 年9月26日	伊藤眞知子

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本社会学会、日本家族社会学会、日本社会教育学会、日本公益学会

②各種学会における活動状況

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・「人材育成の方法としての『聞き書き』に関する領域横断的研究報告書—『庄内の達人プロジェクト』の実践を通して」(研究代表：伊藤真知子、平成27年3月) ・平成27年度地域課題基礎研究「産学官の連携による女性人材育成プログラムの開発に関する研究」(20万円、研究代表者：伊藤真知子)

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	庄内ちえりあ	女性のためのこころのケア講座

公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	10 件	山形県	総合政策審議会
		山形県	男女共同参画審議会
		山形県	高齢者虐待防止県民会議
		山形労働局	山形労働審議会
		国土交通省東北地方整備局	事業評価監視委員会
		庄内町	情報発信研究所
		特定非営利活動法人あらた	理事
		社会福祉法人光風会	理事
		公益財団法人土門拳記念館	理事
		生涯学習施設「里仁館」	常任理事・運営委員
		みやぎ・やまがた女性交流機構	理事
外部団 体講師 派遣	件 数		講演会等名称
	24 件	山形県男女共同参画センター	チェリア塾実践コース (4回)
		酒田市	市立保育園保育士研修 (5回)
		庄内教育事務所	庄内地区成人期・高齢期教育研修会
		酒田市	男女共同参画社会づくりの講座
		村山教育事務所	村山地区成人期・高齢期教育研修
		酒田市	市民大学講座 (3回)
		庄内町	椿ぜみなーる (2回)
		酒田市男女共同参画センター	ウィズ講座
		遊佐町	男女共同参画計画策定講話 (2回)
		庄内総合支庁	地域ふれあい講座
		山形県教職員組合	第65次山形県教育研究集会
		山形県教職員組合田川地区支部	第55次山形県田川地区教育研究集会
		にかほ市	人づくり・まちづくりセミナー
		社会福祉法人光風会	職員研修会
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	1 件	朝日新聞2016年3月	
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教員業績調書

氏名	遠山茂樹				
職位・系・コース	リベラルアーツ				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	査読有り書評、酒井重喜著『近世イギリスのフォレスト政策』(ミネルヴァ書房)	史學雑誌	第124編第3号 (96-105頁)	2015年 (平成27年)	遠山茂樹
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	訳書紹介 ガブリエル・ターギット著、遠山茂樹訳『図説 花と庭園の文化史事典』	東北公益文科大学 総合研究論集	第27号 (7-12頁)	2015年 (平成27年)	遠山茂樹
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

史学会、日本西洋史学会、社会経済史学会、駿台史学会

②各種学会における活動状況

③学会賞等の受賞状況

3-3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: 基盤研究C、不採択	0 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究 東北公益文科大学 地（知）の拠点整備事業 平成26年度地域課題基礎研究<プロジェクト型>

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	5 件		酒田市景観審議会 (会長)
			酒田市美術館理事会 (理事)
			酒田市図書館協議会 (委員)
			鶴岡中央高等学校評議員 (委員)
			山形県酒田港風力発電導入検討協議会 (会長)
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	本学・山形大学農学部・慶應義塾大学先端生命科学研究所・鶴岡工業高等専門学校の4つの 高等教育・研究機関で構成される「地の拠点庄内」の委員として、平成27年12月13日に開 催された第5回シンポジウム（「庄内から未来を語る-若者からの提言-」）の企画・運営に 携わった。		

教員業績調書

氏名	森 彰夫				
職位・系・コース	教授・国際教養コース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「世界市民としてのアイデンティティー「固有の文化」幻想の超克ー(その1)」	『東北公益文科大学総合研究論集』	第27号	2015(平成27)年1月	森彰夫
2	「世界市民としてのアイデンティティー「固有の文化」幻想の超克ー(その2)」	『東北公益文科大学総合研究論集』	第28号	2015(平成27)年7月	森彰夫
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

国際開発学会会員(現在に至る)
比較経済体制学会会員(現在に至る)
日本国際政治学会会員(現在に至る)

②各種学会における活動状況

6月6日・7日、国際開発学会(法政大学)聴講。

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: C	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市	450000 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)
	遊佐町が姉妹都市のソルノク市があるハンガリーから国宝のマンガリッツァ豚を導入し6次産業化を図ろうとしていて、Letter of Intent (趣意書) の作成に協力した。基礎演習aで昨年度から学生も実地に学ばせている。

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	遊佐町	ハンガリーから国宝のマンガリッツァ豚を導入する6次産業化支援
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	温 井 亨				
職位・系・コース	交流文化系観光・まちづくりコース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	酒田市まちづくり人材連携強化事業報告書	東北公益文科大学	全28頁	2015(平成27)年	温井 亨
2	里浜の民家と板倉、奥松島Ⅱー自然・景観・歴史・文化ー	宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・活用検討実行委員会	71-75頁	2015(平成27)年	温井 亨
3	山形県茅葺屋根建造物継承事業調査報告書	山形県教育委員会、一般社団法人山形県建築士会(山形県地域貢献活動センター)	4-5*、86、91、97、107、109	2015(平成27)年	*温井亨、田上正典。 温井亨。
4	飛島魅力再発見事業報告書	東北公益文科大学	全55頁(修正加筆中)	2016(平成28)年	温井亨(学生1頁、岸本誠司7頁、菊地亮哲5頁)
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	此川岸に立つ茅屋の一家族の歴史は如何：無名の風景をめぐって 平成26年度東北支部活動	ランドスケープ研究	78巻4号、376-377頁	2015(平成27)年	温井 亨
2	アレックス・カ一観光講演会へのお誘い 上・下	荘内日報	11月19日、11月20日	2014(平成26)年	温井 亨
3	観光立国タウンミーティングin庄内「若者による日台双方向交流の拡大」に寄せて	荘内日報	5月28日	2015(平成27)年	温井 亨
4	造園学会東北支部大会へのお誘い	荘内日報	10月24日	2015(平成27)年	温井 亨
5	東北で考えた学会と日造協の連携	日造協ニュース	2015.6月号 通巻第495号	2015(平成27)年	温井 亨
6	東北支部大会報告(東北の造園業の現状と造園・ランドスケープ分野のこれから) 平成27年度東北支部活動	ランドスケープ研究	80巻1号、2頁、掲載予定	2015(平成27)年	温井 亨
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績
①所属学会等(必須)
日本造園学会、日本建築学会、日本都市計画学会、地中海学会
②各種学会における活動状況
理事、東北支部長、平成27年度東北支部大会実行委員長、支部大会シンポジウムコーディネーター（2014年、2015年）、ランドスケープ遺産インベントリー委員会委員、企画委員会副委員長、論文査読各2本（2015年、2014年）、風景計画研究推進委員会委員：以上、日本造園学会
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	2 件	酒田市	100万 円
	件	酒田市	100万 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・ 湊町さかた探検隊長として酒田の歴史的市街の魅力を再発見する活動を主宰 (月1回の例会、街なか散歩) ・ ぶら探酒田に湊町さかた探検隊長として協力、英語版チラシ制作 (年6回の散歩に市民150人が毎回参加) ・ 酒田市日和山周辺の景観まちづくり(都市計画課)に協力。 ・ NP0法人酒田みなとまちづくり市民会議の酒田駅前景観シンポジウムに基調講演者として協力 ・ 山形県主催の酒田市文化的景観シンポジウムにパネリストとして協力 ・ 飛島の魅力再発見事業を受託研究 ・ 酒田市升田区の観光案内板のデザイン(研究室として) ・ 酒田市民のカラムシ復活事業(栽培、刈取、製糸、編物制作)に協力 ・ 鶴岡市の名勝金峰山保存管理計画策定に委員として協力 ・ 鶴岡市藤島歴史公園の整備に対して助言提言(課長、担当者と現地巡検) ・ 庄内町振興審議会長としてまちづくり、総合計画に意見 ・ 庄内町余目の商業活性化に対して助言協力 ・ 庄内町清川歴史公園構想に学生委員派遣、助言 ・ グリーンツーリズム・ネットワーク全国大会庄内分科会にコーディネーターとして協力 ・ 農々家(庄内町)、穂波街道(鶴岡市)のグリーンツーリズム活動に協力 ・ 三川町まち・ひと・しごと創生総合戦略に委員として協力 ・ 遊佐町道の駅に、策定委員会委員長、ワーキング・グループ専門委員として協力 ・ 山形県茅葺き建造物調査に副委員長として協力 ・ 特別名勝松島の保存管理に宮城県委員、東松島市委員として参加 ・ 宮戸島・野蒜地区の震災復興計画に協力 ・ 五島列島の文化的景観、古民家ステイ調査 ・ 中国江西省の農村と歴史的集落調査

5. 学外業務歴(平成 27年度 2月末まで)				
産学連携活動	件 数		連携先名	事業内容
	件			
地域団体連携	件 数		連携先名	事業内容
	7 件		庄内のカラムシ復活事業	刈取、展示会援助
			湊町さかた探検隊(隊長)	酒田の隠れた歴史文化を都市に発見する市民組織
			ぶら探酒田	年6回のまち歩き(市民120～150名が毎回参加)
			全国グリーンツーリズム推進協議会山形大会実行委員会	庄内町分科会コーディネーター
			清川歴史歴史公園構想特別委員会	学生、大学院生を委員として派遣、バックアップ
			酒田市升田区	村の観光案内板のデザイン
			宮城県宮戸島・野蒜地域の文化遺産の再生・活用検討委員会	宮城県宮戸島・野蒜地域の文化遺産の再生・活用検討
公共団体等委員就任	件 数		公共団体等名称	委員(審議)会名称
	11 件		庄内町	振興審議会会長
			三川町	まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会委員
			遊佐町	遊佐パーキングエリアタウン計画検討委員会委員長
			遊佐町	同ワーキンググループ専門委員
			遊佐町	遊佐パーキングエリアタウン計画推進ワーキンググループ委員
			酒田市	日和山周辺地区の景観づくり検討会アドバイザー
			鶴岡市	「茅原北地区まちづくり計画」策定委員会委員長
			鶴岡市	名勝金峯山保存活用計画策定委員会委員
			宮城県	宮城県文化財保護審議会松島部会委員
			東松島市	特別名勝松島保存管理専門委員会委員
			東松島市	特別名勝松島ランドデザイン策定に係る指導委員会委員
外部団体講師派遣	件 数		団体名称	講演会等名称
	2 件		日和山周辺地区の景観づくり検討会	日和山の景観について
			「茅原北地区まちづくり計画」策定委員会	コンパクト・シティ鶴岡における新しい郊外の提案
広報関係	マスメディアへの出演・掲載		媒体名称	出演・掲載の内容
	3 件		荘内日報	アレックス・カー観光講演会へのお誘い(上・下)
			荘内日報	観光立国タウンミーティングin庄内「若者による日台双方向交流の拡大」に寄せて
その他	その他特筆すべき社会活動歴			
	庄内総合高等学校評議員・学校関係者評価委員会委員(2回開催) 特別非常勤講師「地域に学ぶ」(池田教諭、白旗教諭、板垣多愛可観光協会職員とともに。11コマ出講。)			

教 員 業 績 調 書

氏 名	澤 邊 み さ 子				
職位・系・コース	教授・地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	社会保障論	成文堂	143-163 (担当箇所)	2015年 (平成27年)	土田武史 編著 岩永理恵・尾玉剛士・ 菊地英明・金成垣・ 澤邊みさ子・菅沼隆・ 園田洋一・鄭在哲・ 堀真奈美・松江咲子・ 松本由美・百瀬優・ 森周子・森田慎二郎・ 山地久美子・于洋・ 米澤旦・李蓮花 (五十音順)
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

社会政策学会、日本職業リハビリテーション学会、日本ニュージーランド学会
日本公益学会、日本社会福祉学会、北ヨーロッパ学会

②各種学会における活動状況

日本ニュージーランド学会
監事 (2010年4月～)
日本ニュージーランド学会・ニュージーランド学会・
東北公益文科大学ニュージーランド研究所合同研究会 総合司会
(2015年10月10日 東北公益文科大学鶴岡キャンパス)
日本公益学会
理事 (2012年4月～)

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市（平成26年度酒田市大学まちづくり政策形成事業）	36万 円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・「若者参加による防災・減災の仕組みづくりに向けた現状と課題の把握」（平成26年度酒田市大学まちづくり政策形成事業）における、酒田市日向地区をモデルにした調査研究（消防団等の地域防災の担い手に関するヒアリング調査及び若者参加による防災・減災活動の展開事例）の実施及び報告書の作成 ・酒田市日向地区における防災マップづくり実践—多様な主体との共創による住民の主体的な合意形成モデル構築—（平成26年度COCアクションプロジェクト「地域コミュニティにおける防災の仕組みづくり—多様な主体との共創・他地域との交流による住民の主体的な合意形成モデルの構築（酒田市日向地区、飛島）、及び公益社会演習（前期・後期）」） ・鶴岡市第一学区「誰も孤立させない絆づくりプロジェクト」における調査活動（平成26年度COCアクションプロジェクト「地域コミュニティにおける防災の仕組みづくり—多様な主体との共創・他地域との交流による住民の主体的な合意形成モデルの構築（鶴岡市第一学区）、及び地域福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」） ・人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究—「庄内の達人プロジェクト」の実践を通して—（平成26年度COC地域課題基礎研究） ・酒田市宮野浦学区における調査活動（平成27年度COCアクションプロジェクト「多様な住民参画による地域課題解決の推進による地域コミュニティの維持・発展のための人づくり（酒田市宮野浦学区）、及び地域福祉演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」） ・酒田市日向地区における防災キャンプの企画・実施（平成27年度COCアクションプロジェクト「多様な住民参画による地域課題解決の推進による地域コミュニティの維持・発展のための人づくり（酒田市日向地区）、及び応用型プロジェクト演習（前期・後期）」） ・平成27年度地域課題解決基礎研究「多様な住民参画による地域課題解決の推進方法に関する調査研究」における調査研究 ・小学生を対象とした「公益を考える事業」の企画・実践（COC庄内カレッジ事業、及び応用型プロジェクト演習） (以上、すべて東北公益文科大学教員による共同研究・活動)

5. 学外業務歴(平成28年度 3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	19 件	日本公益学会	理事
		日本ニュージーランド学会	監事
		山形県労働局	山形県労働審議会
		山形県	山形県介護保険審査会
		山形県	山形県危険ドラッグ対策検討委員会
		山形県	公立大学評価委員会
		山形県庄内総合支庁	庄内地域保健医療協議会
		酒田市	酒田市障害者施策推進協議会
		酒田市	公益活動推進委員会
		鶴岡市	鶴岡市障害者施策推進協議会
		山形県立酒田特別支援学校	学校評議員
		酒田市立浜田小学校	学校評議員
		社会福祉法人酒田市社会福祉協議会	酒田市ボラティアセンター運営委員会
		社会福祉法人酒田市社会福祉協議会	苦情解決委員会
		社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会	理事会
		社会福祉法人鶴岡市社会福祉協議会	山形県共同募金会鶴岡市支会理事会
		社会福祉法人光風会	苦情解決第三者委員会
		吹浦荘	苦情解決委員会
		サポートセンターあおぞら	苦情解決委員会
		特定非営利活動法人あらた	理事会
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	2 件	山形県立酒田特別支援学校	公開研修会
		山形県立酒田特別支援学校	学校PTA研修会

広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	1 件	山形新聞	コラム「極私的偏愛映画」（6週間に1度の掲載）
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教員業績調書

氏名	阿部 公一				
職位・系・コース	教授・地域経営系・政策コース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	国民年金に対する若年層の納付意識変容に向けた年金教育・公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業から	東北公益文科大学総合研究論集	第29号	2015(平成27)年12月	単著
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績	
①所属学会等(必須) 日本年金学会、日本財政学会	
②各種学会における活動状況	
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別:	円

受託研究関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託事業関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間機関等共同研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他外部資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他	
特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学連携活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域団体連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共団体等委員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	酒田市教育委員会	酒田市公民館運営審議会
外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	厚生労働省年金局の依頼により、「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」の構成員を務めました。市町村の国民年金担当窓口で使用する業務支援ツール、研修ツール等の作成に貢献致しました。また、日本年金機構の地域年金展開事業で使用する教育用映像教材の作成にも貢献致しました。検討回終了後の当該年度においても、特に、教育用映像教材を用いた年金教育に関して、普及促進のために携わっております。		

教 員 業 績 調 書

氏 名	呉 衛 峰				
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に記 載した順に本人も含 め記入)
①博士論文					
1					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	浅探『国歌八論』在日本和歌批評史上的意義	中国日本文学研究会『中国日本文学研究会広州年会論文集』(中国:青島出版社)	編集中	2016年(詳細未定)	魏大海編集
④紀要等					
1	中国現代詩の翻訳と世界文学——是永駿の仕事を中心に(その二・芒克の詩)——	東北公益文科大学総合研究論集	第28号、(1)–(10)	2015年7月(第27号)	
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					
3-2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等(必須) 日本比較文学会、東大比較文学会、和漢比較文学会、日本中国学会、東方学会、International Comparative Literature Association (ICLA)					
②各種学会における活動状況					
③学会賞等の受賞状況					

3-3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
	件		円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	なし 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	なし 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	なし 件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	なし 件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	なし 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	なし		

教 員 業 績 調 書

氏 名	呉 尚 浩				
職位・系・コース	交流文化系 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	東日本大震災後の離島 における防災・減災体 制のあり方に関する研 究- 飛島における住民 主体の防災計画づくりに 向けて -	東北公益文科大学総合 研究論集	第26号 pp. 73-82	2014年	呉尚浩・伊藤真知 子・澤邊みさ子・ 小関久恵・岸本誠 司・三浦巧・渡部 陽子
⑤総説・解説等					
1	「山形の自然・ひとに 魅せられて-地域をつく る人を育てる・飛島 14 年間の活動から-」	『山形教育』371号	P. 12-15	2014年	呉尚浩
2	「飛島地域安全安心向 上事業業務委託報告書 」	酒田市受託 国土交通省	総ページ182頁	2015年	呉尚浩・伊藤真知 子・澤邊みさ子・ 小関久恵・岸本誠 司・三浦巧・渡部 陽子
3	「飛島魅力再発見事業 」報告書	酒田市受託	総ページ50頁	2016年	温井亨・呉尚浩・ 菊地哲亮・岸本誠 司
4	「『庄内海岸松原再生 計画』の見直しに向け て-『防災・減災』の 視点を中心に」	酒田市図書館報『光丘 』148号	P. 3	2016年	呉尚浩
⑥国際会議発表論文等					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	「社会貢献を通じた学 生教育-地域リーダーの 育成-『公益的民の力 』を生かした『飛島の 内発的地域づくり』の 取り組みを事例として 」	大学COC・シンポジウム 2014「島を元気にする 若者たち」	広島商船高等専門 学校主催	2014年	呉尚浩

2	「とびしま未来協議会の挑戦ー公益的な民の力による『離島振興計画づくり』とその実践ー」	COC地域課題解決全国フォーラム in 庄内	東北公益文科大学主催	2014年	吳尚浩・伊藤真知子・澤邊みさ子・小関久恵・岸本誠司・三浦巧・渡部陽子
3	「庄内の海岸林を次世代につなぐーこれからの10年を考えるー」	第10回クロマツシンポジウム	広島商船高等専門学校主催	2014年	吳尚浩
4	「多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究ー中間報告ー」	COC地域課題解決全国フォーラム in 庄内	東北公益文科大学主催	2015年	武田真理子（報告者）・伊藤真知子・吳尚浩・小関久恵・澤邊みさ子・渡辺暁雄
4	「地域みんなで守る海岸林ー『出羽庄内公益の森づくりを考える会』の活動を中心に」	第3回緑の湘南フェスタ	NPO法人地球緑化センター主催	2016年	吳尚浩

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本環境社会学会 日本公益学会 日本海岸林学会 日本沿岸域学会

②各種学会における活動状況

日本海岸林学会大会（2014年10月）

日本森林学会大会（2015年3月）

COC地域課題解決全国フォーラム in 庄内（2014年12月／2015年12月）への参加

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件	酒田市・国土交通省 飛島地区安心安全向上事業業務	1,100,000 円 H26
		酒田市 飛島の魅力再発見調査業務	997,920 円 H27
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)
	平成27年度 地域課題基礎研究 多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究 40万円（共同）

5. 学外業務歴(平成28年度3月末まで)			
産学連携活動	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	庄内社会基盤技術フォーラム	年1回の大会、運営委員
地域団体連携	件 数	連携先名	事業内容
	3 件	NPO法人パートナーシップオフィス	理事
		NPO法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会	理事
		広野地区農地整備事業推進協議会	環境情報部会委員
公共団体等委員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	8 (9/H26を含む) 件	出羽庄内公益の森づくりを考える会	会長、松原再生計画見直し部会
		とびしま未来協議会・事務局長	事務局長
		山形県海岸漂着物対策推進協議会	副会長
		山形県海区漁業調整委員会委員	委員
		やまがた緑環境税活用事業評価・検証PT会議	委員
		「飛島クリーンアップ作戦」実行委員会委員	委員
		「三島交流会（佐渡島・栗島・飛島）」実行委員会	運営委員
		美しいやまがたの海プラットフォーム (第6次山形県教育振興計画検討委員会)	協働事務局 社会教育・スポーツ専門委員会・座長/H26
外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	1 (3/H26含む) 件	NPO法人地球緑化センター	第3回緑の湘南フェスタ
		広島商船高等専門学校 / H26	大学COC・シンポジウム2014「島を元気にする若者たち」
		NPO法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会 / H26	第10回クロマツシンポジウム
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 (3/H26含む) 件	NHK	飛島防災に関するインタビュー
		河北新報	飛島防災に関するインタビュー
		河北新報	三島交流会
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	「アイランダー2014/2015」 出展 (国土交通省 ・ 公益財団法人 日本離島センター主催)		

教員業績調書

氏名	松田 憲				
職位・系・コース	教授・交流文化系・国際教養コース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	多様な価値観を学ぶ	東北公益文科大学 総合研究論集	第29号 i-ii	2015年12月22日 (平成27年)	
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

- ・日本比較文化学会
- ・大学英語教育学会
- ・全国語学教育学会
- ・外国語メディア学会
- ・Teachers of English to Speakers of Other Languages International Association

②各種学会における活動状況

所属学会の研究発表大会にできるだけ参加した。

③学会賞等の受賞状況

特になし

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 特になし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 特になし

5. 学外業務歴(平成28年度3月末まで)

産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	3 件	鶴岡南高等学校(通信制)	学校評議員
		鶴岡南高等学校(通信制)	学校関係者評価委員
		鶴岡南高等学校(通信制)	いじめ防止委員
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	酒田市役所	酒田市都市計画審議会
			(平成27年12月19日まで就任)
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		

広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	平成27年8月6日と7日に庄内地域の高校生を対象にGlobal Seminarを実施し、英語で講義を行った。 平成27年10月28日に開催された東北・北海道地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会に審査員として参加した。 平成27年10月31日から11月5日に酒田市のアメリカ合衆国オハイオ州デラウェア市使節団に団員として参加した。 平成27年12月23日に開催された酒田東高等学校第2学年課題研究発表会に審査員として参加した。		

教 員 業 績 調 書

氏 名	古 山 隆				
職位・系・コース	教授・エネルギー特別専攻				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同 発表の場合は 論文等に記載し た順に本人も含
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	19世紀に生産された鉄道レールについての考察(その5)	平成27年度資源・素材関係学協会合同秋季大会企画発表講演資料	鉱業史	2015年(平成27年)9月10日	大石徹、古山隆

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

環境資源工学会、資源・素材学会、自動車技術会、

②各種学会における活動状況

資源・素材学会編集幹事、自動車技術会リサイクル技術部門委員会委員長

③学会賞等の受賞状況

なし

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: 基盤研究(C) 不採択	0 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

受託事業関係	件数	契約先名	契約金額
	1 件	庄内総合支庁	599,940 円
			円
民間機関等共同研究	件数	契約先名	契約金額
	1 件	九州メタル産業株式会社	1,069,200 円
			円
			円
その他外部資金	件数	契約先名	契約金額
	1 件	独立行政法人国立青少年教育振興機構(子どもゆめ基金)	557,000 円
			円

3-4. その他	
特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内地域の小学生を対象とした科学体験教室「身近なもので電気をつくろう!」を実施

5. 学外業務歴(平成 27年度 3月末まで)			
産学連携活動	件数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域団体連携	件数	連携先名	事業内容
	1 件	松原学区コミュニティ振興会	科学教室の企画・実施
公共団体等委員就任	件数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	3 件	自動車技術会	リサイクル技術部門委員会
		資源・素材学会	編集幹事会
		環境資源工学会	評議会
外部団体講師派遣	件数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	・旧口市廃棄物減量等推進審議会 委員 ・鶴岡市廃棄物減量等推進審議会 委員		

教 員 業 績 調 書

氏 名	神 田 直 弥				
職位・系・コース	教授・情報特別選抜				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	自転車乗車と環 境(1)道路環境 への注意	安全教育ニュー ス	No. 1419、p. 1	2015	神田直弥
2	自転車乗車と環 境(2)視認性と 被視認性	安全教育ニュー ス	No. 1422、p. 1	2015	神田直弥
3	自転車乗車時の危 険予測(1) 交通 状況への適応	安全教育ニュー ス	No. 1430、p. 1	2016	神田直弥
4	自転車乗車時の危 険予測(2) 主体的 な気づきをうなが す	安全教育ニュー ス	No. 1433、p. 1	2016	神田直弥
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	自転車運転時に おける道路横断 時間の評価	第51回日本交通 科学学会学術講 演会	Vol. 51, No. 1, p. 32	2015	佐久間有紗・神 田直弥

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
・ 日本交通心理学会 会員 ・ 日本人間工学会 会員 ・ 日本心理学会 会員 ・ 日本プラントヒューマンファクター学会 会員 ・ Human Factors and Ergonomics Society Full Member ・ 日本交通科学学会 会員 ・ 航空運航システム研究会 会員
②各種学会における活動状況
日本交通心理学会編集委員 (平成26年～)
③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: 非採択	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 地域包括ケアシステム推進に向け、老いや最期の過ごし方について主体的に考える市民意識の啓発を実施。大学生や高校生を中心とした啓発イベントを実施した。

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	2 件	酒田市	公共交通会議
		鶴岡南高校	SSH運営指導委員会
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	1 件	山形新聞	クォーター制の紹介
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	佐野 治				
職位・系・コース	准教授・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	対象関係論の存在論 的基礎付けによるケ ースワーク及び地域 福祉の実践理論のた めの素描(前半)	東北公益文科大学 総合研究論集	第 2 8 号	平成27年7月21 日	佐野治
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)	
日本地域福祉学会	
②各種学会における活動状況	
③学会賞等の受賞状況	

3-3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

受託事業関係	件 数	契約先名	契約金額
	2 件	山形県舟形町役場	300000 円
		長久手市社会福祉協議会	300000 円
民間機関等共同研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他外部資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 山形県舟形町の行政計画である第三期地域福祉計画を策定している。

5. 学外業務歴(平成28年度3月末まで)			
産学連携活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域団体連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共団体等委員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	3 件	舟形町役場	地域福祉計画策定委員会
		長久手市役所	地域福祉計画推進委員会
		長久手市社会福祉協議会	地域福祉計画推進委員会
外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	1 件	最上町役場	地域参加と自殺予防
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	1 件	中日新聞	途上国の子どもの貧困問題
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	①行政の地域福祉計画の制度設計および執筆作業(委託)を担当している。②途上国の子どもの貧困に関する講演会で、事前に新聞報道された		

教 員 業 績 調 書

氏 名	内藤 悟				
職位・系・コース	准教授・政策コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表の場 合は論文等に記載した順 に本人も含め記入)
①博士論文					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	「行政契約」、「地方自治と廃棄物処理」大 西有二編著『説例で学ぶ行政法』	八千代出版		2016 (平成28)	内藤悟
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
査読無し学術論文等					
1	地方自治体の再生可能エネルギー政策 条 例制定を中心に	都市問題	106巻5号	2015 (平成27)	内藤悟
2	再生可能エネルギーと条例	日本エネルギー法研究 所月報	2014年12月号	2014 (平成26)	内藤悟
④紀要等					
1	地方自治体の空き家対策 山形県酒田市の 条例制定を例として	東北公益文科大学総合 研究論集	(28)	2015 (平成27)	内藤悟＝荒木英義
⑤総説・解説等					
1	人口減少時代の政策法務	平成26年度地(知) の拠点事業地域課題 基礎研究報告書		2015 (平成27)	内藤悟
⑥国際会議発表論文等					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	資源開発と環境配慮	人間環境問題研究会	2015年1月	2015 (平成27)	内藤悟
2	地方自治体の環境配慮義務	新潟大学公法研究会	2015年1月	2015 (平成27)	内藤悟
3	再生可能エネルギー発電施設をめぐる条例	日本エネルギー法研究所	2016年1月	2016 (平成28)	内藤悟
3-2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等(必須)					
環境法政策学会、水資源・環境学会、人間環境問題研究会、北海道大学公法研究会、新潟大学公法研究会					
②各種学会における活動状況					
上記3-1⑦のとおり					
③学会賞等の受賞状況					

3-3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有(27年度 代表者)	種別: 基盤研究C(平成27年度 ～29年度) 採択	1,300,000 円 27年度
	(26年度 分担者)	種別: 挑戦的萌芽研究(平成 24年度～26年度)	160,000 円 26年度
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ・平成26年度地域課題基礎研究「庄内地域の水環境保全ガバナンスのあり方に関する研究」(代表 内藤)において遊佐町職員、関係者と「庄内地域環境政策法務研究会」を設立するとともに、「心のふるさと新井田川の会」(酒田市)と新井田川の水環境保全について協議 ・平成26年度地域課題基礎研究「人口減少時代の自治体職員研修の開発に関する研究」(代表和田教授)において鶴岡市職員らとの協議、報告書作成。 ・平成27年度地域課題基礎研究「水循環基本法を踏まえた庄内地域の流域管理に関する研究」において、前年度からの研究会を継続中。 ・酒田市職員研修(政策法務)講師として、酒田市総務課とともに、酒田市の地域課題解決(条例化)を研修内容に反映することを毎年度協議。26年度研修を通じた酒田まちづくり課の空き家対策条例の検討成果を、担当職員とともに紀要(28)「地方自治体の空き家対策 山形県酒田市の条例制定を例として」として公表。 ・酒田木材工業団地協同組合「地域材利用促進のための条例化の方策」検討委員として、地域材利用促進に係る条例案を検討し報告

5. 学外業務歴(平成27年度3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	日本エネルギー法研究所	再生可能エネルギーに関する法的問題研究班
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	6 件	山形県	職業能力開発審議会委員
		酒田市	情報公開・個人情報保護審査会委員
		酒田市	環境審議会専門委員
		酒田市	行政不服審査会委員
		酒田地区広域行政組合	情報公開・個人情報保護審査会委員
		酒田地区広域行政組合	行政不服審査会委員
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	2 件	酒田市 酒田木材工業団地協同組合	職員研修講師(政策法務) 地域材利用促進のための条例化の方策
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	・平成26年度地域課題基礎研究において、遊佐町職員、住民らとともに地域の水環境問題に係る法的問題を検討する「庄内自治体環境政策法務研究会」を立上げ。27年度研究においても継続中。28年度継続予定。 ・平成27年度地域課題基礎研究において、「心のふるさと新井田川の会」、酒田市環境課とともに水環境保全にかかる条例制定に向けた協議を検討中。H28年度継続予定。		

教 員 業 績 調 書

氏 名	渡辺 暁雄				
職位・系・コース	准教授 交流文化系 観光・まちづくりコース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	住民参加のまちづくり における課題意識の醸 成と共有ー山形県鶴岡 市加茂地区におけるー	日本公益学会 「公益学研究」	第14巻第1号 pp. 47-52	2015 (平成 27) 年3月31 日	単著
④紀要等					
1	社会学からみる「聞き 書き」ー『ジャック・ ローラー』と「アグネ ス」の事例からー	東北公益文科大学 聞き書 き研究会「人材育成の方法 としての『聞き書き』に関 する療育模範的研究ー『庄 内の達人プロジェクト』の 実践を通してー」報告書(研究代表者: 伊藤真知子)	報告書pp. 24- 26	2015 (平成 27) 年3月31 日	伊藤真知子・遠山 茂樹・澤邊みさ子 ・渡辺暁雄・小関 久恵・奥山慎・佐 藤裕邦
2	加茂地区振興に向 けた構想	加茂地区自治振興 会	報告書pp. 1-24	2015 (平成 27) 年3月31 日	単著
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	住民参加のまちづくり における合意形成過程 ー山形県鶴岡市加茂地 区におけるー	日本公益学会 第15回大会		2014 (平成 26) 年10月5 日	渡辺暁雄

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)
日本社会学会・日本生活学会・日本公益学会・社会文化学会
②各種学会における活動状況
大会参加
③学会賞等の受賞状況

3-3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	2 件	山形県	140000 円
		鶴岡市	200000 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 庄内景観回廊・加茂地区活性化事業（山形県）、加茂地区整備構想策定（鶴岡市）

5. 学外業務歴(平成 27年度 3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	鶴岡市加茂地区自治振興会	まちづくり・地域振興
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	3 件	山形県	第36回全国豊かな海づくり大会実行委員
		酒田市	酒田市社会教育委員会
		酒田市	酒田市食育・地産地消推進委員会（委員）

外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	4件(11回) 件	にかほ市教育委員会	人づくり・まちづくりセミナー「にかほの『いいね』を伝えよう」, 10年後のにかほについて語ろう! (2回)
		庄内南部定住自立圏合同研修(鶴岡市中心)	アイディアを受けての指導・報告会参加(2回)
		酒田市教育委員会	市民大学講座「酒田の10年後を考える『酒田のいいね!を伝えよう』, 同報告会(2回)
		鶴岡市加茂自治振興会	まちづくりワークショップ(5回)
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	7 件	山形新聞	オピニオン「ことばの杜へ」掲載
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	・鶴岡市加茂地区では自治振興会の活動はもとより, 地域住民の自発的・内発的活動を支援するため, 極頻繁に同地に赴き, 住民と共に活動している。 ・「知の拠点庄内」(本学, 山大農学部, 鶴岡高専, 慶應大学先端研参加) ワークショップ委員会に, 遠山茂樹教授とともに参加。		

教 員 業 績 調 書

氏 名	三木 潤一				
職位・系・コース	准教授 地域経営系 経営コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1	博士学位取得済み				
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	「コモンプール財 としての観光資源 の管理・運営―日 本の地域の取り組 み事例から―」長 峯純一編著『産業 研究書叢書38 公共 インフラと地域振 興』 (編著者による査読 付)	中央経済社	第15章 274-290頁	2015年 (平成27年) 3月	三木潤一
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	記載すべき事項なし				
査読無し学術論文等					
1	記載すべき事項なし				
④紀要等					
1	記載すべき事項なし				
⑤総説・解説等					
1	記載すべき事項なし				
⑥国際会議発表論文等					
1	記載すべき事項なし				
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	「ごみ処理等施設 の最適配置問題― ごみ収集・処理・ 処分の広域化・大 規模化に関する検 討―」	「公益学＋経済学 」2大学合同ワー クショップ(東北公 益文科大学)	第1回	2015年 (平成27年) 9月3日・ 9月4日	三木潤一・ 川崎雄二郎

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本財政学会 日本地方財政学会 廃棄物資源循環学会 日本経済学会

②各種学会における活動状況

東北公益文科大学と関西学院大学の有志教員(東北公益文科大学3名・関西学院大学4名)による「公益学＋経済学」2大学合同ワークショップを主催(東北公益文科大学、2015年(平成27年)9月3日・9月4日)

③学会賞等の受賞状況

記載すべき事項なし

3-3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別: 平成28年度(2016年度) 挑戦的萌芽研究に申請 中	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) 記載すべき事項なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 東北公益文科大学学内の2015年度(平成27年度)プロジェクト型研究予算(37万円))を獲得し、研究課題である「地域包括ケアシステムによる医療・介護費用の抑制 —マクロ計量モデル分析による検討—」に研究代表者として取り組んでいる。

5. 学外業務歴(平成27年度 3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	5 件	大阪府枚方市	改革・改善サイクル評価員会議
		大阪府枚方市	民間活力活用業務評価員会議
		山形県酒田市	行財政改革推進委員会委員
		山形県酒田市	都市計画審議会
		山形県遊佐町	環境審議会

外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	特記すべき事項なし		

教 員 業 績 調 書

氏 名	広瀬雄二				
職位・系・コース	准教授・情報特別選抜				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

情報処理学会

②各種学会における活動状況

会員

③学会賞等の受賞状況

なし

3-3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市情報管理課	600,000 円
			円

受託事業関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間機関等共同研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他外部資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) さかたみなとオアシスまつりの若年層集客を目的とするスマートデバイス娯楽用途システムの開発とそれを利用した活動の展開

5. 学外業務歴(平成 27 年度 9 月末まで)			
産学連携活動	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	酒田市情報管理課	GISコンテンツ作成業務
地域団体連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共団体等委員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	2 件	酒田市	酒田市情報公開・個人情報保護運営審議会
		酒田市	酒田市ホームページ更改審査
外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	2 件	KOEKI PERSON(2014)	SKIPの活動紹介
		KOEKI PERSON(2015)	SKIPの活動紹介
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	・(大学)アンケートシステムのWeb版と集計装置の開発と運用 ・(大学)学生情報データベースの運用と検索機能の実装 ・(大学)学生教育環境のサーバ/クライアントシステムの設計・構築・運用すべて ・(大学)学生PCのVPN接続システムの設計・構築・運用すべて ・(世界)LaTeX入力支援システムYaTeX(1991-)継続リリース(2015-01-06: 1.78.4) ・情報処理技術者試験学習会の主催と指導		

教 員 業 績 調 書

氏 名	松山 薫				
職位・系・コース	准教授 交流文科系 観光まちづくりコース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1	日本各地の「日輪兵 舎」 ー忘れられた満蒙開 拓青少年義勇軍の象 徴ー	季刊地理学	67-3, 191-195	2015 (H27)	松山 薫
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	地域資源としての潜 在的価値が高い建造 物の維持・活用に関 する研究	第2回 地域課題解 決全国フォーラム in 庄内		2015 (H27) 12月6日	松山 薫

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本地理学会, 人文地理学会, 東京地学協会, 東北地理学会, 歴史地理学会, 経済地理学会, お茶の水
地理学会, 軍事史学会, 日本アイランド協会, 日独協会, 日本地図学会, 日本観光研究学会

②各種学会における活動状況

③学会賞等の受賞状況

3-3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) H27年度地域課題基礎研究「文化財建造物の分布とその地域活性化資源としての役割」(配分額200千円)に関する研究

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	山形歴史たてもの研究会	歴史的建造物の研究・保存
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	2 件	山形県	公共事業再評価監視委員会
		山形県	建築審査会
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	1 件	河北新報	金山町の日輪舎について
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	戦争遺跡や軍用地に関するマスメディアからの問い合わせに応じて、情報提供を行った(4社)。		

教 員 業 績 調 書

氏 名	武田真理子				
職位・系・コース	准教授 地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「生活支援の視点か らの復旧・復興」 (報告概要)	『ニュージール ド・ノート』	第17号 pp. 18-21	2015年3月	武田真理子
2	「酒田市における家庭 教育支援に関する調査 報告書」(平成26年度 酒田市大学まちづくり 政策形成事業報告書)	東北公益文科大学		2015年3月	國眼眞理子・伊藤眞知 子・武田真理子・竹原 孝太・小関久恵・白旗 希実子
3	「平成26年度鶴岡市第 一学区『誰も孤立させ ない絆づくりプロジェ クト』調査報告書」	東北公益文科大学		2015年3月	武田真理子・澤邊みさ 子・「地域福祉演習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」受講生
4	「人口減少時代の自治 体職員研修の開発に関 する研究―庄内地域に おける官民連携・協働 による地域課題解決に 向けて―」(平成26年 度地域課題基礎研究報 告書)	東北公益文科大学		2015年8月	和田明子・斉藤徹史・ 武田真理子・内藤悟・ 平尾清
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Ageing Population, Diminishing Local Communities and Social Welfare in Rural Japan	21st New Zealand Asian Studies Society Conference Session 7 Panel 7B 'Local Politics, Local Communities' (口頭発表)	University of Canterbury, Christchurch, New Zealand	2015年12月1日 (発表受理 2015年8月29 日)	Mariko Takeda

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)

1	「生活支援の視点からの復旧・復興」	東北公益文科大学ニュージーランド研究所シンポジウム「ニュージーランド・カンタベリー地震の復興に学ぶ～庄内地域の防災について考える～」		2015年2月11日	武田真理子
2	「障がい者の見守り活動による地域福祉の推進」	平成26年度東北・北海道ブロックおよび山形県身体障害者相談員合同研修会		2014年11月6日	武田真理子
3	「酒田市における学習支援について考える」	公益社団法人酒田青年会議所「『地域の力』学習支援シンポジウム」		2014年11月18日	武田真理子
4	「子ども・子育て支援新制度と 今後の酒田地区の保育展望について」	山形県酒田市法人保育園研修会		2014年12月5日	武田真理子
5	「高齢者を見守る 地域の取り組みについて」	川西町の高齢者見守りを考えるワークショップ		2015年1月23日、2月13日	武田真理子
6	「人口減少社会における部落づくり」	遊佐町藤岡まちづくり協会区長・部落公民館長・ご近所ネット推進会議委員合同研修会		2015年1月31日	武田真理子
7	「私たちが安心して暮らし続けられる 地域を目指して ～高齢者の見守り・支え合いについて考える～」	天童市社会福祉協議会役員事務局研修		2015年2月3日	武田真理子
8	「鶴岡市第一学区の地域福祉活動について考える ～平成26年度調査活動からの考察と展望～」	鶴岡市第一学区「誰も孤立させない絆づくりプロジェクト」研修会		2015年2月27日	武田真理子

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

社会政策学会、日本社会福祉学会、日本公益学会、日本ニュージーランド学会

②各種学会における活動状況

日本ニュージーランド学会は理事及び学会誌編集担当。他の学会は研究会等への参加。

③学会賞等の受賞状況

3-3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	2 件	酒田市（平成26年度酒田市大学まちづくり政策形成事業）	450,000 円
		酒田市（平成27年度酒田市大学まちづくり政策形成事業）	450,000 円

受託事業関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	鶴岡市（地域共創コーディネーター養成プロ具絵ラム構築事業）	1,000,000 円
民間機関等共同研究	件 数		契約金額
	件		円
			円
			円
その他外部資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)
	・平成26年度地域課題基礎研究（教員提案型）「住民主体の地域福祉推進の方法に関する調査研究～小地域における地域福祉活動計画策定プロセスを中心に～」 ・平成26年度地域課題基礎研究（プロジェクト型）「人口減少時代の自治体職員研修の開発に関する研究～庄内地域における官民連携・協働による地域課題解決に向けて～」 ・平成27年度地域課題基礎研究（プロジェクト型）「多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究」 ・庄内オフィス地域リーダー育成部会長（庄内地域カレッジの企画と運営）

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学連携活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域団体連携	件 数	連携先名	事業内容
	明確に記せるものは3 件	鶴岡市第一学区コミュニティ振興会等	「誰も孤立させない絆づくりプロジェクト」の運営協力。
		酒田市南遊佐学区社会福祉協議会等	酒田市南遊佐地域支え合い研修会コーディネーター
		酒田市川南地域ネットワーク連絡会	川南地域ネットワーク連絡会への出席、運営協力。
公共団体等委員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	18 件	山形県立酒田光陵高等学校	山形県立酒田光陵高等学校評議員・学校評価委員
		酒田市	酒田市認可外保育施設審議会会長
		酒田市	酒田市地域福祉計画策定に関する懇話会会長
		酒田市	子ども・子育て会議会長
		山形県	「子育てするなら山形県」推進協議会委員
		山形県庄内総合支庁	高齢者見守り・支えあい活動推進事業アドバイザー
		山形県	山形県NPO推進委員会委員長
		山形県	山形県総合政策審議会特別委員
		山形県	山形県社会教育委員
		山形県	山形県個人情報保護審議会委員

		鶴岡市	鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会会長
		鶴岡市	鶴岡市総合戦略会議委員
		遊佐町	遊佐町教育委員会事務点検・評価委員
		鶴岡市社会福祉協議会	鶴岡市社会福祉協議会法人後見委員会委員
		山形県社会福祉協議会	監事
		株式会社未来創造館	監事
		社会福祉法人正覚会	監事
		社会福祉法人あすなろ福祉会	評議員
外部団体講師派遣	件数	団体名称	講演会等名称
	約7件	酒田市	市民大学講座
		にかほ市	人づくり・まちづくりセミナー
		温海第1地区自治会	役員研修会
		鶴岡市第一学区コミュニティ振興会	誰も孤立させない絆づくりプロジェクト研修会
		東北地区社会教育連絡協議会等	東北地区社会教育研究大会・第60回東北地区公民館大会
		鶴岡市公民館連絡協議会	研究集会
		山形県社会福祉事業団	施設実践報告会
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	約10件	<記録を取っていません>	
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	平成27年度はCOC事業の一環として行っている「地域共創コーディネーター養成プログラム構築事業」を通して、人口減少社会に求められる地域人材の育成のための行政、NPO等とのプラットフォームの構築と同プラットフォームにおける研究、検討や人材育成プログラムの構築作業に取り組み、地域づくりの重要な核となる人材育成において既存の組織の枠を超えた広域的な連携・協働を推進することができた。		

教 員 業 績 調 書

氏 名	西村まどか				
職位・系・コース	准教授・情報特別選抜				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

3-2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本物理学会

②各種学会における活動状況

会員

③学会賞等の受賞状況

なし

3-3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

受託事業関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間機関等共同研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他外部資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

3-4. その他	
特許等知的財産権の申請・取得	(申請・取得内容) 研究と関連なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 循環型社会システムの創造研究委員会から新たに資源循環委員会が発足。副委員長就任。 酒田市教育委員会「ものづくり運営委員会」運営委員。

5. 学外業務歴(平成 28 年度 3 月末まで)			
産学連携活動	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	循環型社会システムの創造研究会委員	建設発生残土等廃棄物の有効資源としての活用をめざす
地域団体連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	山形県科学技術委員会	次期山形県科学技術政策大綱の策定
公共団体等委員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	酒田市教育委員会	ものづくり運営委員会
外部団体講師派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報関係	マスメディアへの出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	ジハン、シャザダナイヤール				
職位・系・コース	准教授・アジアビジネス人材養成講座担当				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1	S. N. Jehan, 2015, "Kaizen Kosaku or New Business Model Innovation Paradigm"	Accepted / Under Print l Publication		September 2015, 査読有	
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	S. N. JEHAN, "Strategic Shift - A Case for Rare Earth Self-Sufficiency for Japanese Industries"	Proceedings of Annual Switzerland Business Research Conference, Geneva		October 12-13, 2015, 査読有	
2	S. N. JEHAN, "Islamic Finance: PE Pushed Investment Strategy for Rare Earth Ventures"	Proceedings of ICIBF Conference, Mecca, March 2016		March 06-07, 2016, 査読有	
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

- ・ American Accounting Association (AAA)
- ・ Japan Society for Applied Management
- ・ Japan Association for Management Systems
- ・ Japan Creativity Society
- ・ IEEE
- ・ Asia Pacific Finance Association
- ・ European Financial Management Association (Referee)
- ・ Journal for Applied Statistics (Referee)

②各種学会における活動状況

Participation, Presentation, Referee Etc.

③学会賞等の受賞状況

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別: 結果街	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円

4. その他

特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)

産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	鎌田剛				
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	(一般口演) 顔の見える関係から 『一目置く関係へ』 ―地域医療連携に おけるアクター間関係 の将来像試論	日本医療マネジメント 学会第13回東北連合会 ・第8回宮城支部 学術総会		2014-10-18	鎌田剛・瀬尾利加子
2	(シンポジスト) 研究者の立場から― インフォーマル サービス、地域力 「社会連携」時代の 多分野参画システム の提案	第17回 日本医療マネ ジメント学会学術総会 シンポジウム6 「2025年モデルを 見据えた地域連携を 考える」		2015-06-12	鎌田剛
3	(一般口演) やまがた多職 種連携学生 ネットワーク 立ち上げ の実践報告	第17回日本医療 マネジメント学会 学術集総会口演		2015-06-13	鎌田剛・瀬尾利加子

2. 学会活動に関する業績	
①所属学会等(必須)	
日本医療マネジメント学会、日本地域福祉学会、日本医療・病院管理学会	
②各種学会における活動状況	
日本地域福祉学会第29回全国大会実行委員 (平成26年4月1日～平成27年12月31日)	
③学会賞等の受賞状況	

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) COC事業における課題解決アクションプロジェクト 「地域包括ケアシステム構築に向けた市民参画の仕組み づくり」を実施した。

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	庄内地域医療連携の会	COC事業のAPとして 実施。会のメンバーが授業 にも出講。
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	2 件	酒田市総合戦略策定委員会	
		山形県版C C R C 構想 検討チーム	
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	2 件	山形県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修 専門研修
		山形県社会福祉士会	基礎研修Ⅱ
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	狩野 晃一				
職位・系・コース	准教授・交流文化系・国際教養コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	『シチリア派恋愛 抒情詩選—中世イ タリア詞華集』(翻訳:伊→日)	東京:論創社	263pp.	2015 (平成27年)	瀬谷幸男 狩野晃一 (共訳)
2	<i>Sawles Warde and the Wooing Group: Parallel Texts with Notes and Wordlists</i>	Frankfurt am Mein, Oxford: Peter Lang	xii+170pp.	2015 (平成27年)	Harumi Tanabe, John Scahill, Keiko Ikegami, Shoko Ono, Satoko Shimazaki, <u>Koichi Kano</u> (共編著)
3	『チョーサーと英 米文学—河崎征俊 教授退職記念論文 集』(「<X>の謎— OE sc-に対する中 英語期の異綴りを めぐって」)	東京:金星堂	pp. 346-357	2015 (平成27年)	狩野晃一 (共編著)
4	チョーサー研究会 会報: <i>Bulletin of the Society for Chaucer Studies</i>	チョーサー研究会	第3号 i+25pp.	2015 (平成27年)	狩野晃一 (編著)
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	「The Katherine Groupにおけるフラ ンス語借入語から みた「AB言語」再考 」	東北公益文科大学 『東北公益文科大学 総合研究論集』	第27号 pp. 25-42	2015 (平成27年)	狩野晃一 (単著)
2	「Observations on Dialectal Forms and Standardisation in the Vernacular Texts of Late Medieval Norfolk」	東北公益文科大学 『東北公益文科大学 総合研究論集』	第29号 pp. 39-54	2016 (平成28年)	狩野晃一 (単著)
⑤総説・解説等					
1	なし				

⑥国際会議発表論文等					
1	なし				

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)

1	なし				
---	----	--	--	--	--

2. 学会活動に関する業績 ①所属学会等(必須) 日本英文学会、日本中世英語英文学会、日本中世英語英文学会東支部、チョーサー研究会、New Chaucer Society、Early English Text Society ②各種学会における活動状況 チョーサー研究会事務局長（平成19年より現在に至る） 日本中世英語英文学会 大会準備委員会 副委員長（平成27年より現在に至る） 日本中世英語英文学会東支部 幹事（平成26年より現在に至る） 第30回日本中世英語英文学会東支部 学会招致（本学開催 平成27年6月27日） ③学会賞等の受賞状況 なし

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: 若手 (B)	1900000 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

5. 学外業務歴(平成 27年度 3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	0 件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	スルトノフ ミルゾサイド				
職位・系・コース	准教授、交流文科系、国際教養コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文 等に記載した順 に本人も含め記 入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	The Fall of Oil Prices and Changes in the Dynamic Relationship between the Stock Markets of Russia and Kazakhstan	Journal of Reviews on Global Economics	vol. 4, pp. 147-151	July, 2015	Sultonov M.
査読無し学術論文等					
1	The determinants of the duration of migration of Tajikistan's labour migrants in Russia	総合研究論集、東北公益文科大学	Vol. 28, pp. 1-8	July, 2015	Sultonov M.
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Macroeconomic stability in remittance-dependent Economies	The 13th International Conference of the Japan Economic Policy Association, JEPA, Tokyo		November, 2014	Author: Sultonov M.
2	Dynamic linkage between stock markets of Russia and Kazakhstan: Effects of ruble devaluation and energy price fall	The 14th International Conference of the Japan Economic Policy Association, JEPA, Tokyo		November, 2015	Author: Sultonov M.
3	Dynamic conditional correlation and causality-in-variance among the exchange rates of the ASEAN and major economies of Asia	The 12th International Conference of WEAL, Singapore		January, 2016	Author: Sultonov M.

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	The socio-economic impacts of labour migration and remittances: the case of Tajikistan	Tajikistan-Japan Students Forum 2014, University of Tsukuba, Tsukuba		October, 2014	Author: Sultonov M.
2	Regional Differences in Female Labor Force Participation in Japan	The 13th International Conference of the Japan Economic Policy Association, JEPA, Tokyo	by A. Sakanishi	November, 2014	Discussant: Sultonov M.
3	The Economic Impacts of International Migration	公益学+経済学」2大学合同ワークショップ、東北公益文科大学		September, 2015	Author: Sultonov M.
4	Fiscal Stimulus and Unemployment Dynamics	The 12th International Conference of WEAL, Singapore	by Ch. Kuo	January, 2016	Discussant: Sultonov M.
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等(必須)					
比較経済体制学会; Western Economic Association International; Social Indicators Research; Applied Economics					
②各種学会における活動状況					
Presenter, discussant and referee works					
③学会賞等の受賞状況					

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)

5. 学外業務歴(平成28年度3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	1 件	酒田市交流広場研修室	イングリッシュカフェ
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	2 件	FM山形	どういう学生を育てていきたいか
		Central Asian Analytical Network	日本と中央アジア諸国の経済関係
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	竹原幸太				
職位・系・コース	准教授・地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	菊池俊諦の児童保護・児童福祉思想に関する研究	早稲田大学出版部	全226頁	2015(平成27)年3月	竹原幸太
2	「修復的正義と日本文化に関する教育学的研究」西村春夫・高橋則夫編『修復的正義の諸相』(分担執筆)	成文堂	pp. 247-264	2015(平成27)年7月	竹原幸太
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	武蔵野学院職員の感化教育・少年教護実践史に関する研究	日本教育学会『教育学研究』	82巻3号、pp. 14-26	2015(平成27)年9月	竹原幸太
査読無し学術論文等					
1	第7分科会 学校における紛争解決教育	日本司法福祉学会『司法福祉学研究』	15号、pp. 184-192	2015(平成27)年8月	竹原幸太・宿谷晃弘・五十嵐弘志・田中圭子
2	子ども権利条約20年の成果と課題ー少年司法領域	『季刊教育法』エイデル研究所	No. 183 pp. 55-60	2014(平成26)年12月	竹原幸太
④紀要等					
1	著書紹介 菊池俊諦の児童保護・児童福祉思想に関する研究	東北公益文科大学 総合研究論集	28号、pp. 61-68	2015(平成27)年7月	竹原幸太
⑤総説・解説等					
1	少年事件から見える子どもの成長発達課題を読み解く	日本子どもを守る会編『子ども白書2015』本の泉社	pp. 150-152	2015(平成27)年8月	竹原幸太
2	青少年問題対策の変遷と子どもの権利保障の課題	『青森家庭教育少年問題研究会会報』7号	pp. 7-11	2015(平成27)年6月	竹原幸太
⑥国際会議発表論文等					
1					

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)

1	戦後児童福祉実践における実践要領の形成過程に関する研究	日本司法福祉学会 16回大会（早稲田大学）		2015（平成27）年8月	竹原幸太
2	地域での子ども支援（見守る）ー子どもが育つ地域社会を育む	酒田市市民大学講座（公益研修センター、依頼講演）		2015（平成27）年7月	竹原幸太
3	修復的少年司法と成長発達権保障の課題	子どもの権利条約総合研究所自由報告（早稲田大学）		2015（平成27）年5月	竹原幸太
4	援助の道具として看護倫理を活用するために	酒田市立酒田看護専門学校卒業記念講演（酒田市保健センター、招待講演）		2015（平成27）年3月	竹原幸太
5	青少年問題対策の変遷と子どもの権利保障の課題	青森家庭教育少年問題研究会2014年度第2回学習会（弘前大学、招待講演）		2015（平成27）年2月	竹原幸太
6	少年司法におけるケースワーク機能再考	山形家裁鶴岡支部家裁調査官研修（山形家庭裁判所鶴岡支部、招待講演）		2014（平成26）年12月	竹原幸太
7	教護院における教育権保障の歴史的考察	日本社会福祉学会62回秋季大会（早稲田大学）		2014（平成26）年11月	竹原幸太
8	患者の権利保障をめぐる諸問題	庄内余目病院倫理研修（余目病院、招待講演）		2014（平成26）年11月	竹原幸太

①所属学会等(必須)

日本教育学会、日本社会教育学会、日本教育法学会、日本社会福祉学会、日本司法福祉学会、社会事業史学会、日本犯罪社会学会、日本子ども虐待防止学会

②各種学会における活動状況

日本社会福祉学会で報告（2014年11月）、日本司法福祉学会で分科会概要を投稿・掲載（2015年8月）、日本教育学会に論文投稿・掲載（2015年10月）

③学会賞等の受賞状況

なし

3. 研究資金獲得状況

	申請の有無	採択状況	採択金額
科研費関係	○有 ・ 無	種別： 若手研究（B）継続 戦後児童福祉実践における「児童の権利」思想に関する研究	50万（直接経費、2015年分） 円
受託研究関係	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	酒田市大学まちづくり地域政策形成事業（代表國眼眞理子）	45万（直接経費、2015年分） 円
			円
受託事業関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円

4. その他			
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)		
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)		
5. 学外業務歴(平成 27年度 3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	奈良県教育委員会	早稲田大学と奈良県の協定「ならわせた」プロジェクトにおいて、調査者として参画
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	酒田市教育委員会	いじめ問題対応委員会 (副委員長)
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	4(残り2つはその他を参照)	山形地裁酒田支部家裁調査官 研修	少年事件における被害者調査の 意義と課題
		庄内余目病院院内倫理研修会	人生の最終段階における医療を めぐる意思決定支援の現状と課題
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	1 件	北國新聞朝刊 (9月17日)	文化面で郷土史と関連して菊池 俊諦 (著書の対象人物) を紹介
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	・2015年7月、日本子どもを守る会編『子ども白書2015』において、巻頭座談会に参画 ・2015年10月、庄内教育事務所主催家庭教育フォーラムにてコーディネーターを担当 ・2015年11月、若浜学区青少年健全育成懇談会にて「地域での子ども支援(見守る)ー子どもが育つ地域社会を育む」を講演 ・2015年12月、刑事司法及び少年司法に関する教育・学術研究推進センターから第2回守屋研究奨励賞を授与 ・2016年2月、11回庄内地区里親及び七窪思恩園合同懇談会にて「子どもの「荒れ」と向き合う仕組みと視点」を講演		

教 員 業 績 調 書

氏 名	菅井マリー				
職位・系・コース	講師 Cross-cultural studies ILA				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文: Started process.					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等:					
査読有り学術論文等					
1	Truancy as a plausible, temporal component of hikikomori. Koeki University Journal 28, 2015.7.21.	place	volume, page	date of pbl	
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1	Abstract published in OMICS society catalogue and online. September 2015.				
⑥国際会議発表論文等					
1	1. SCCR International Conference. Cultural Concepts of Behavior and Mental Health. New Mexico. USA. February 18-21, 2015. Oral Presentation. Speaker. 2. IAFOR International Conference Osaka Japan. Psychology and the Behavioral Sciences. Psychology and Education. March 28, 2015 Oral Presentation. Speaker. And CHAIRPERSON. 3. OMICS International Conference on Adolescent Medicine & Child Psychology. Sept 28, 2015. Houston. Texas. USA. Oral Presentation. Speaker				

⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)

1	Akumi Chapter 67th Inter-High School English Speech Contest. Judge and Speech Delivery. Sakata Nishi High School. For High School Teachers: Power point speech `Giving a great speech in English` September 22nd 2015. PENDING: Preparation completed in October for Hosei University Guest Speech (Speaking: Nov. 25. 2015)				
---	---	--	--	--	--

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

1. SfAA: The Society for Applied Anthropology.
2. SCCR: Society Cross Cultural Research.
3. IAFOR: International Academic Forum/ ACP. ACERP.
4. KOKOROYA Mental Health Rehabilitation Center, Sendai. Volunteer and Board Governor.

②各種学会における活動状況

Peer reviewer for IAFOR Psychology and Behavioral Science journal. Also Speaker.
Chair person for International Conference ACP/ACERP IAFOR: March 28. 2015
Kokoroya Mental Health Rehabilitation Center. Yakuin duties include attending meetings and discussing activities and arranging events.

③学会賞等の受賞状況

1. Human Subjects Research AMA PRA certificate award. University of Miami. Miller School of Medicine. 2015. June 7.
2. Information Privacy and Security in Health Research certificate award. 2015. June. 6.
3. OMICS International. Certificate. Award for `Phenomenal Presentation` 2015. September 29.

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) なし

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	0 件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	NPOころや(役員)		

教 員 業 績 調 書

氏 名	齊藤 徹史				
職位・系・コース	講師・地域経営系・政策コース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等に 記載した順に本人も 含め記入)
①博士論文					
1	ー				
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「町長が行った行政財産である土地の目的外使用許可処分の取消しを求めた住民訴訟で、使用許可処分と使用料減免処分は一体の関係にあり、使用料減免処分を含めた使用許可処分は財務会計行為に該当するが、当該処分に係る町長の裁量権の行使に逸脱又は濫用を認めることはできないとした事例（札幌高判平成24年5月25日判自370号10頁）」	『法学』	(80巻3号、東北大学法学会)	平成28年8月 (掲載予定)	齊藤徹史 ※東北大学公法判例研究会幹事（東北大学教授）が内容を審査し、掲載が決まった。
2	「住民が、市がした委員会の委員らに対する謝礼の支払は、違法な公金の支出にあたり、各委員は、市に対して、受領した謝礼相当額を不当利得として返還する義務があるとして、市長に対し、各委員らに不当利得返還請求権を行使するよう求めた件につき、委員会を要綱で設置したことは違法・無効であり、各委員の委嘱に瑕疵があったというべきであるが、各委員の謝礼の受領は法律上原因がない利得にあたらないとして、一審判決が支持され、控訴が棄却された事例（東京高判平成23年9月15日判例集未登載）」（仮題）	『法学』	(東北大学法学会)	近日公表予定	齊藤徹史 ※昨年10月に東北大学公法判例研究会で報告した内容について、同研究会幹事の東北大学行政法担当教授から論文にするよう指示があり、現在執筆中である。近日中に同教授の審査を経て、公表する予定である。
3	「談合を原因とする損害賠償請求に関する裁判例の研究」（仮題）	後日調整		近日公表予定	齊藤徹史 ※今年7月に日本財政法学会財政法研究会で報告した内容について、同学会理事長から論文にするよう指示があり、現在執筆中である。近日中に同教授の審査を経て、公表する予定である。
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1	COC報告書「地方自治体における研修制度の運用に関する一考察」	平成26年度地域課題基礎研究「人口減少時代の自治体職員研修の開発に関する研究」		平成27年8月	和田明子・齊藤徹史・武田真理子・内藤悟・平尾清 (執筆順)
⑤総説・解説等					

1					
⑥国際会議発表論文等					
1	-				
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	研究会報告「談合を原因とする損害賠償請求に関する裁判例の検討」	第48回日本財政法学会財政法研究会		平成27年7月	齊藤徹史
2	研究会報告「北海道瀬棚郡今金町の住民である控訴人が、被控訴人に対し、今金町長が被控訴人の行政財産である本件土地をA社、B社に駐車場として使用を許可する旨の処分取消しを求めた事案の控訴審において、本件使用許可処分と本件使用料減免処分は一体の関係にあり、本件使用料減免処分を含めた本件使用許可処分は住民訴訟の対象となる財務会計行為に該当するが、上記処分に係る今金町長の裁量権の行使に逸脱又は濫用があると認めることはできないから、本件使用料減免処分を含めた本件使用許可処分の取消しを求めた控訴人の請求は理由がなく、控訴人の請求は全体として棄却されるべきであって、本件使用許可処分取消しの訴えを却下した原判決は相当でないとして、これを取り消した事案」	東北大学公法判例研究会		平成27年11月	齊藤徹史
3	学会報告「人口減少時代の自治体職員研修の開発に関する研究」	第2回 地域課題解決全国フォーラムin庄内		平成27年12月	和田明子・内藤悟・齊藤徹史

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本公法学会 日本財政法学会 日本経済法学会 日本地域学会 日本高等教育学会 自治体学会 東北大学公法判例研究会 東北大学経済法研究会 日本財政法学会財政法研究会

②各種学会における活動状況

これまでに、日本地域学会、日本高等教育学会、自治体学会で学会発表を行った。上記3つの研究会において、研究会報告を行った。

③学会賞等の受賞状況

-

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別： 来年度分は発表待ち	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	－ 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	－ 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	1 件	荘内銀行	250000 円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	－ 件		円
			円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) －
地域課題関係	COC地域課題基礎研究「地域のイノベーションと経済活性化を促進する新たなPFIの研究」

5. 学外業務歴(平成 27 年度 3 月末まで)【27年度分】			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	1 件	株式会社荘内銀行	P F I に関する共同研究
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	－ 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	7 件	岩手県	政策評価委員会
		岩手県	政策評価委員会政策評価専門部会
		岩手県	県民協働型評価推進事業審査会
		公正取引委員会東北事務所	東北経済法研究会
		庄内町	行政改革委員会
		庄内町	振興審議会
		総務省山形行政評価事務所	行政懇談会
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	2 件	酒田市図書館	「忙しい人の図書館利用術」
		酒田市教育委員会	「報道でみる法学入門」
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	－ 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	公益財団法人都市化研究公室 主任研究員		

教 員 業 績 調 書

氏 名	山本 裕樹				
職位・系・コース	講師・リベラルアーツ				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	インターネット望遠 鏡で観測！現代天文 学入門	森北出版株式会社		2016年 (平成28年)	慶應義塾大学インタ ーネット望遠鏡プロ ジェクト (計21名)
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	山形県立鶴岡南高校 での観測—小惑星の 観測と軌道要素の計 算—	第6回インターネット 望遠鏡プロジェクト ・シンポジウム		2016年 (平成28年)	山本裕樹

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本物理学会

②各種学会における活動状況

特に無し

③学会賞等の受賞状況

無し

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有	種別: 基盤研究 (C)	総計300万円 平成27年度100万円(分担20万円)

受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)
	地（知）の拠点整備事業 地域課題研究部会の部会員として活動し、「第2回地域課題解決全国フォーラム in 庄内」では座長を担当した

5. 学外業務歴(平成27年度3月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	0 件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	1 件	富山県立大学	第20回ダ・ヴィンチ祭2015 サイエンスカフェとやま
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		

	その他特筆すべき社会活動歴
その他	11月に東京都お台場で開かれたサイエンスアゴラ2015にブースを出展し、来場者に対してインターネット望遠鏡の説明や操作体験を実施し、インターネット望遠鏡の普及に努めた。ここでは、今年度指導した鶴岡南高校のゼミの成果を3名の生徒がポスター発表した。

教 員 業 績 調 書

氏 名	白旗 希実子				
職位・系・コース	講師・リベラルアーツ				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1	「介護職の誕生」			2009年3月	京須希実子
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1	「第11章 社会福祉士—国家資格制度による量的統制」橋本鉦市編『専門職養成の日本的構造』	玉川大学出版部	207-226頁	2009年	白旗 (京須) 希実子
2	『介護職の誕生』	東北大学出版会	単著	2011年	白旗希実子
3	「第10章 社会福祉士—曖昧な業務からの報酬(職域)確保運動」橋本鉦市編『専門職の報酬と職域』	玉川大学出版部	235-264頁	2015年	白旗 (京須) 希実子
4	「第8章 生涯学習社会のなかで学び続ける人々—「おやじの会」を事例として—」	学文社	ページ未定	2016年春刊行予定	白旗 (京須) 希実子
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1	「介護職の業務確立と専門的特徴」	『介護福祉学』日本介護福祉学会	13(2)、264-269頁	2006年	京須希実子
2	「福祉系国家資格制度過程の研究—「専門職」形成のメカニズム—」	『産業教育学研究』日本産業教育学会	36(1)、57-64頁	2006年	京須希実子
3	「介護職の業務確立に関する一考察」	『社会学年報』東北社会学会	36、233-253頁	2007年	京須希実子
4	「高等教育機関と人材確保政策のシンケージ—福祉系人材に着目して—」	『東北大学高等教育開発推進センター紀要』東北大学高等教育開発推進センター	3、21-32頁	2008年	京須希実子
5	「介護職が捉える業務の現状と課題—インタビューからの一考察—」	『保健福祉学研究』東北文化学園大学医療福祉学部保険福祉学科	10、35-54頁	2012年	白旗希実子・佐藤直由
6	「アメリカにおける介護職の資格制度と養成制度」	『東北教育学会研究紀要』東北教育学会	16、15-26頁	2013年	白旗希実子
7	「アメリカにおける介護職の研修制度」	『保健福祉学研究』東北文化学園大学医療福祉学部保険福祉学科	11、1-15頁	2013年	白旗希実子・佐藤直由
8	「イギリスにおける専門職の実践適合性(Fitness to practise)検討プロセス」	『産業教育学研究』日本産業教育学会	44(2)、9-7頁	2014年	白旗希実子・鈴木道子
査読無し学術論文等					
	なし				

④紀要等					
1	「「おやじの会」と父親の育児参加（１）ーグラウンデッド・セオリー・アプローチによる分析の試みー」	『東北大学大学院教育学研究科研究年報』東北大学大学院教育学研究科	55(1)、157-179頁	2006年	京須希実子・橋本鉦市
2	「福祉系専門職団体の組織変容過程ーソーシャルワーカー団体に着目してー」	『東北大学大学院教育学研究科研究年報』東北大学大学院教育学研究科	54(2)、225-249頁	2006年	京須希実子
3	「介護福祉士養成の質をめぐる政策分析ー「検討会」における議論に着目してー」	『東北大学大学院教育学研究科研究年報』東北大学大学院教育学研究科	56(1)、89-108頁	2007年	京須希実子
4	「「おやじの会」と父親の育児参加（２）ーB会を事例としてー」	『東北大学大学院教育学研究科研究年報』東北大学大学院教育学研究科	55(2)、13-25頁	2007年	京須希実子・橋本鉦市
5	「大学における介護福祉士教育と職業的レリバンスーGTA分析を用いてー」	『東北大学大学院教育学研究科研究年報』東北大学大学院教育学研究科	57(1)、117-131頁	2008年	京須希実子
6	「教員のスクールソーシャルワーカーに対するニーズ調査」	『東北公益文科大学総合研究論集』	27、43-63頁	2015年	白旗希実子・丸山和昭
7	「イギリスにおける専門職教育・訓練の基準とプログラム承認・モニタリングプロセスーHealth and Care Professions Councilに着目してー」	『東北公益文科大学総合研究論集』	29、55-73頁	2015年	白旗希実子・鈴木道子
8	「イギリスにおける栄養士養成教育の到達基準」	山形県立米沢栄養大学『紀要』	1・2、29-46頁	2015年	鈴木道子・白旗希実子
⑤総説・解説等					
1	図書紹介：若木秀夫・大淀昇一著『教育入門ー文献で読み解く教育の社会的基盤ー』	『産業教育学研究』日本産業教育学会	42(2)、27頁	2012年	白旗希実子
⑥国際会議発表論文等					
	なし				
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	「福祉系専門職の誕生とその戦略ー国家資格をめぐる動向を中心にー」	日本教育社会学会第57回大会		2005年	京須希実子
2	「福祉職の専門職化過程ー社会福祉士に着目してー」	日本産業教育学会第46回大会		2005年	京須希実子
3	「父親の育児参加と「おやじの会」」	日本教育社会学会第58回大会		2006年	京須希実子・橋本鉦市
4	「介護業務確立をめぐる連携・協働のメカニズム」	日本社会福祉学会第54回大会		2006年	京須希実子
5	「福祉系人材養成校の変遷とその特徴ー介護福祉士の養成校に着目してー」	東北教育学会 第64回大会		2007年	京須希実子

6	「介護専門職の「質」の語られ方とその差異」	東北社会学会 第54回大会		2007年	京須希実子
7	「専門職養成における「質の保証」とは何か」	日本教育社会学会 第59回大会		2007年	京須希実子
8	「介護専門職の教育カリキュラムに関する研究」	東北教育学会 第65回大会		2008年	京須希実子
9	「少子化時代の学校法人の経営行動—学校法人の拡大・連携に関する調査から」	日本教育社会学会 第62回大会		2010年	荒井克弘、佐藤直由、猪股蔵之、小入羽秀敬、白旗希実子
10	「アメリカにおける介護職教育に関する一考察」	東北教育学会 第69回大会		2012年	白旗希実子
11	「「次世代専門職」のアクレディテーションと能力基準」	東北教育学会 第70回大会		2013年	丸山和昭、白旗希実子、橋本鉦市
12	「イギリスにおける専門職および専門職をめざす学生に対する倫理基準」	東北教育学会 第71回大会		2014年	白旗希実子、鈴木道子
13	「米国における職域横断型アクレディテーションの研究」	東北教育学会 第71回大会		2014年	丸山和昭、白旗希実子、橋本鉦市
14	「イギリスにおける専門職教育プログラムの承認プロセス」	日本高等教育学会 第17回大会		2014年	白旗希実子・鈴木道子
15	「イギリスの栄養士養成制度と質保証」	日本栄養改善学会東北支部学術集会 第1回		2014年	鈴木道子・白旗希実子
16	「イギリスにおける医療福祉系専門職の継続的能力・職能開発」	東北教育学会 第72回大会		2015年	白旗希実子・鈴木道子
17	「酒田市における保護者の子育て支援ニーズに関する調査研究」	東北教育学会 第73回大会		2016年	白旗希実子・國取眞理子・伊藤眞知子・武田眞理子・竹原幸太・小関久恵・木崎実可子

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本教育社会学会、日本高等教育学会、日本産業教育学会、日本社会福祉学会
日本介護福祉学会、日本保健医療社会学会、東北教育学会、東北社会学会

②各種学会における活動状況

東北社会学会 2007～2009年 紀要編集委員

③学会賞等の受賞状況

2007年10月 日本産業教育学会 学会奨励賞 桐原賞
2009年3月 東北大学 総長賞

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別: 若手スタート支援（代表） 挑戦的萌芽研究（分担）	1,170千 300千 円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円
			0 円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		0 円
			0 円

4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) 平成27年度 大学まちづくり政策形成事業 酒田市における家庭教育支援に関する調査 研究分担者

5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	0 件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	1 件	酒田市教育委員会	酒田市小・中学校学区改編審議会
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件		
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	0 件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	小関 久恵				
職位・系・コース	講師・地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(一)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発表 の場合は論文等 に記載した順に本人 も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1	Universities and Local Communities Partner for Regional Disaster Prevention	20th Asian and Pacific Association for Social Work Education Conference (Bangkok Thailand)	41-42	2015 (平成27) 年10月	小関久恵
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究～「庄内の達人プロジェクト」の実践を通して～	東北公益文科大学地(知)の拠点整備事業「地域課題解決全国フォーラム」		2014 (平成26) 12月	伊藤真知子、遠山茂樹、澤邊みさ子、渡辺暁雄、小関久恵
2	「聞き書き」を活用した人材育成～庄内の達人プロジェクト実践中間報告～	東北公益文科大学地(知)の拠点整備事業「地域課題解決全国フォーラム」		2014 (平成26) 12月	小関久恵、渡辺暁雄、遠山茂樹、岡崎愛子、熊谷夏季、佐藤百恵、山野駿
3	専門教育の危機と教養教育の意義～教育の危機をどう乗り越えるか～	大会ラウンドテーブル「保健医療福祉系大学における教養教育の問題(6)ー専門教育の危機と教養教		2015 (平成27) 年6月	小関久恵
4	多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究～中間報告～	東北公益文科大学地(知)の拠点整備事業「地域課題解決全国フォーラム」		2015 (平成27) 12月	武田真理子、伊藤真知子、吳尚浩、小関久恵、澤邊みさ子、渡辺暁雄
5	酒田市日向地区における子ども防災キャンプの実践～地域と大学の共創～	東北公益文科大学地(知)の拠点整備事業「地域課題解決全国フォーラム」		2015 (平成27) 12月	澤邊みさ子、小関久恵、吳尚浩、石川正志
6	“庄内の達人プロジェクト”における聞き書き実践報告	東北公益文科大学地(知)の拠点整備事業「地域課題解決全国フォーラム」		2015 (平成27) 12月	小関久恵、岡崎愛子、熊谷夏季、佐藤百恵

2. 学会活動に関する業績			
①所属学会等(必須)			
大学教育学会、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会			
②各種学会における活動状況			
日本社会福祉教育学会理事（事務局長）を務める（平成26年8月～）。			

3. 研究資金獲得状況			
科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	3 件	酒田市（平成26年、家庭教育）	540000 円
		酒田市（平成26年、防災）	360000 円
		酒田市（平成27年、家庭教育）	450000 円
民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	件		円
			円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	3 件	文部科学省地（知）の拠点整備事業（平成26年、聞き書き）	976000 円
		文部科学省地（知）の拠点整備事業（平成27年、多様な住民参画）	400000 円
		文部科学省地（知）の拠点整備事業（大学の地域人材育成）	132000 円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容)
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)
	酒田市大学まちづくり政策形成事業（平成26年度、27年度ともに『酒田市における家庭教育支援に関する調査研究』、平成26年度は『若者参加による防災・減災の仕組みづくりに向けた現状と課題の把握』）への取り組みや、文部科学省地（知）の拠点整備事業において、地域課題研究（平成26年度『人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究』、平成27年度『多様な住民参画による地域コミュニティの地域課題解決の推進方法に関する調査研究』、『地域人材育成における大学の役割に関する検討』）や、それらに伴うアクションプロジェクトや庄内地域カレッジ事業の取り組みを行っている（アクションプロジェクト運営部会、地域リーダー育成部会に所属）。

5. 学外業務歴(平成 27年度 3 月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		

地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	5 件	山形県立酒田西高等学校	学校評議員会
		山形県社会福祉審議会	委員
		山形沿岸海岸保全基本計画検討委員	委員
		山形県地方港湾審議会	委員
		山形県社会福祉事業調整会議	外部委員
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	1 件	鶴岡市加茂地区公民館共同研修会実行委員会	「少子高齢化社会における高齢者が活躍できる地域づくり」
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		

教 員 業 績 調 書

氏 名	齋藤建児				
職位・系・コース	助教・地域経営系・地域福祉コース				
1. 研究発表					
整理 番号	論文名・書著名	発表学協会誌 又は発行所	巻・号 頁(ー)	発表・発行 西暦年 (元号併記)	発表者名(共同発 表の場合は論文等 に記載した順に本 人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1					

2. 学会活動に関する業績

①所属学会等(必須)

日本社会福祉学会、日本介護福祉学会、日本福祉介護情報学会、日本社会福祉教育学会、老年社会科学会

②各種学会における活動状況

「自己発信による異変把握の可能性検証—能動的な安否確認システムにおける4年半の取り組みから—」、単独、2015年11月、日本福祉介護情報学会第16回大会（田園調布学園大学）

3. 研究資金獲得状況

科研費 関係	申請の有無	採択状況	採択金額
	有 ・ 無	種別:	円
受託 研究 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円
受託 事業 関係	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
			円

民間 機関等 共同 研究	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円
その他 外部 資金	件 数	契約先名	契約金額
	0 件		円

3-4. その他	
特許等 知的財産権の 申請・取得	(申請・取得内容) なし
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況) ①JST RISTEXの岩手県立大学小川PJ、慶應義塾大学伊香賀PJ、早稲田大学佐藤PJの一員として、岩手県宮古市、福島県浪江町、高知県梶原町をフィールドに「コミュニティで創る新しい高齢者社会デザイン」のアクションリサーチに関与した。 ②岩手県立大学の研究補助事業である「平成27年度地域協働研究（地域提案型）」に採択された小川晃子教授のPJの共同研究者として2つの研究課題に参加した（「過疎地域における住民主体の見守り体制づくり」及び「SNS活用による公民が連携した地域包括ケア体制の構築」）

5. 学外業務歴(平成 27年度 2月末まで)			
産学 連携 活動	件 数	連携先名	事業内容
	3 件	岩手県立大学	民間型高齢者見守り・生活支援事業
		株式会社プロフェッショナル・ネットワークス	民間型高齢者見守り・生活支援事業
		有限会社まごのて	民間型高齢者見守り・生活支援事業
		NTTドコモ	民間型高齢者見守り・生活支援事業
		岩手県立大学	転倒予防アプリ開発のための社会実験等
		桜美林大学	転倒予防アプリ開発のための社会実験
		北里大学	転倒予防アプリ開発のための社会実験
		大阪体育大学	転倒予防アプリ開発のための社会実験
		岡山県立大学	転倒予防アプリ開発のための社会実験
		NTTドコモ	転倒予防アプリ開発のための社会実験
		来栖川電算	転倒予防アプリ開発のための社会実験
		隣ワイズマン	SNS活用に関する公民が連携した地域包括ケア体制の構築
地域 団体 連携	件 数	連携先名	事業内容
	4 件	宮古市社会福祉協議会川井センター	ソーシャルネットワークを活用した地域包括ケア体制構築事業
		有限会社まごのて	スマートフォンを活用した安否確認事業
		有限会社まごのて	民間型高齢者見守り・生活支援事業
		NPO法人かわい元気社	SNS活用に関する公民が連携した地域包括ケア体制の構築
		心生会指定居宅介護支援事業所	SNS活用に関する公民が連携した地域包括ケア体制の構築
		宮古市社会福祉協議会かわい居宅介護支援事業所	SNS活用に関する公民が連携した地域包括ケア体制の構築
		川井診療所	SNS活用に関する公民が連携した地域包括ケア体制の構築
		宮古市地域包括支援センター（川井地区）	SNS活用に関する公民が連携した地域包括ケア体制の構築

公共 団体等 委員 就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	0 件	なし	
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	0 件	なし	
広報 関係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	2 件	日本経済新聞	民間型高齢者見守り・生活支援事業に関するプレスリリース (共同)
		岩手日報	民間型高齢者見守り・生活支援事業に関するプレスリリース (共同)
		盛岡タイムス	転倒予防アプリ開発のための社会実験 (共同)
その他	その他特筆すべき社会活動歴		
	酒田市公益活動支援補助金助成金2次審査員		

教 員 業 績 調 書

氏 名	バンティング ティモシー				
職位・系・コース	助教・国際教養コース				
1. 研究発表					
整理番号	論文名・書著名	発表学協会誌又は発行所	巻・号頁(一)	発表・発行西暦年(元号併記)	発表者名(共同発表の場合は論文等に記載した順に本人も含め記入)
①博士論文					
1					
②著書(翻訳含む)及び辞書等					
1					
③学協会誌等					
査読有り学術論文等					
1					
査読無し学術論文等					
1					
④紀要等					
1					
⑤総説・解説等					
1					
⑥国際会議発表論文等					
1					
⑦口頭発表等(招待講演・学会発表等)					
1	ニュージーランドから見た庄内	ニュージーランド学会		2015年	バンティングティモシー
2. 学会活動に関する業績					
①所属学会等(必須)					
②各種学会における活動状況					
③学会賞等の受賞状況					
3. 研究資金獲得状況					
科研費関係	申請の有無	採択状況		採択金額	
	有	種別: 教科書		円	
受託研究関係	件 数	契約先名		契約金額	
	件			円	
				円	
受託事業関係	件 数	契約先名		契約金額	
	件			円	
				円	
民間機関等共同研究	件 数	契約先名		契約金額	
	件			円	
				円	
				円	
その他外部資金	件 数	契約先名		契約金額	
	件			円	
				円	

3-4. その他			
特許等知的財産権 の申請・取得	(申請・取得内容)		
地域課題関係	(地域課題解決のための研究・活動状況)		
5. 学外業務歴(平成 年度 月末まで)			
産学連 携活動	件 数	連携先名	事業内容
	件		
地域団 体連携	件 数	連携先名	事業内容
	件		
公共団 体等委 員就任	件 数	公共団体等名称	委員(審議)会名称
	件		
外部団 体講師 派遣	件 数	団体名称	講演会等名称
	件		
広報関 係	マスメディアへの 出演・掲載	媒体名称	出演・掲載の内容
	件		
その他	その他特筆すべき社会活動歴		